

資料編

資料 1 草津市の現状分析

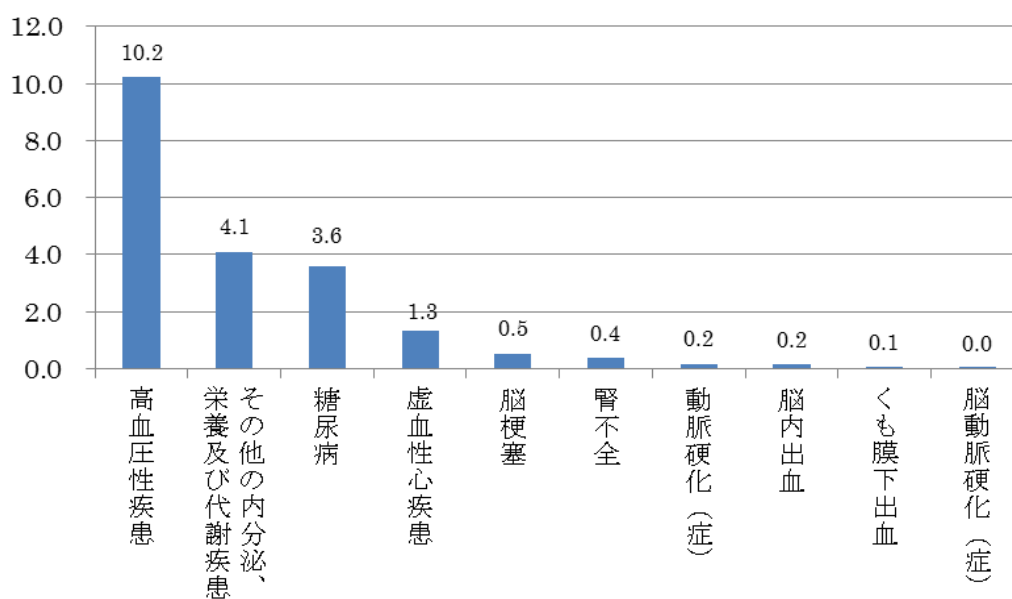
生活習慣病の特徴（平成 24 年 5 月診療分）

（1）生活習慣病関連疾病の受診率

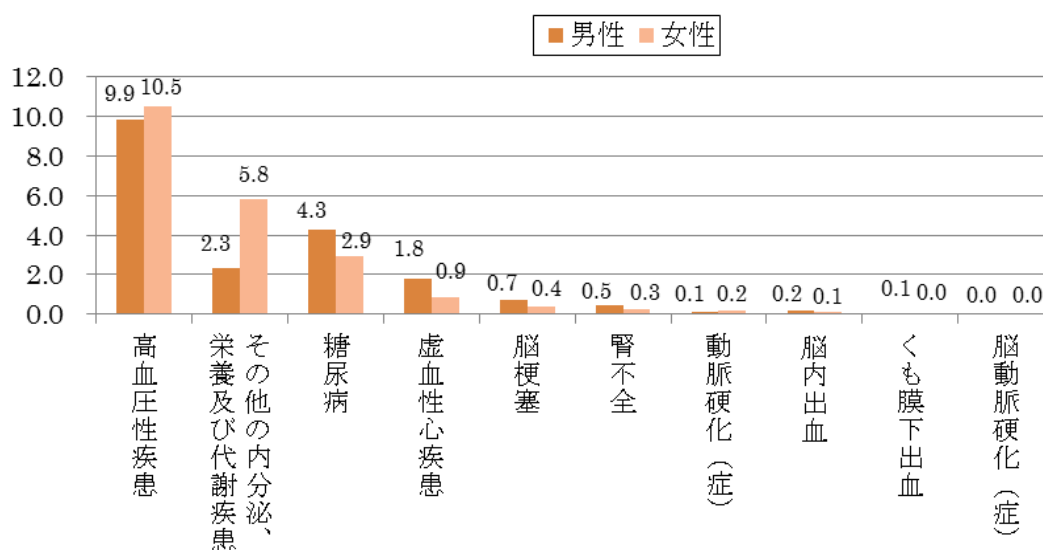
生活習慣病関連疾病の受診率をみると、「高血圧性疾患」が 10.2%で最も高く、次いで「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」が 4.1%、「糖尿病」が 3.6%、「虚血性心疾患」、「脳梗塞」と続いています。

男女別にみると、男女ともに「高血圧性疾患」が最も高くなっています。次いで男性は「糖尿病」、女性は「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」が高くなっています。

生活習慣病関連疾病の受診率（%）



男女別生活習慣病関連疾病の受診率（%）

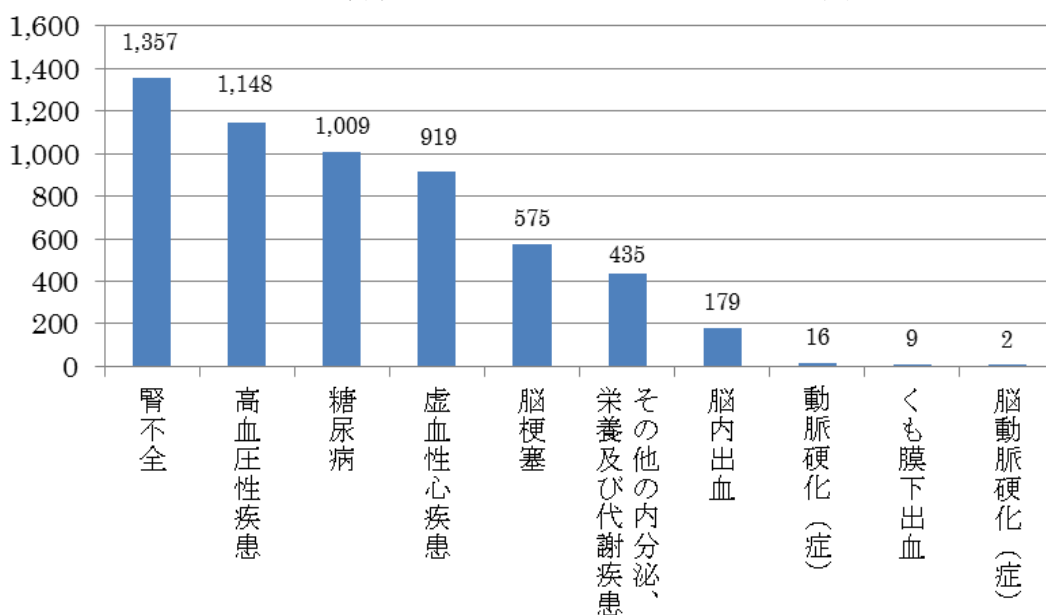


(2) 生活習慣病関連疾病の1人あたり医療費

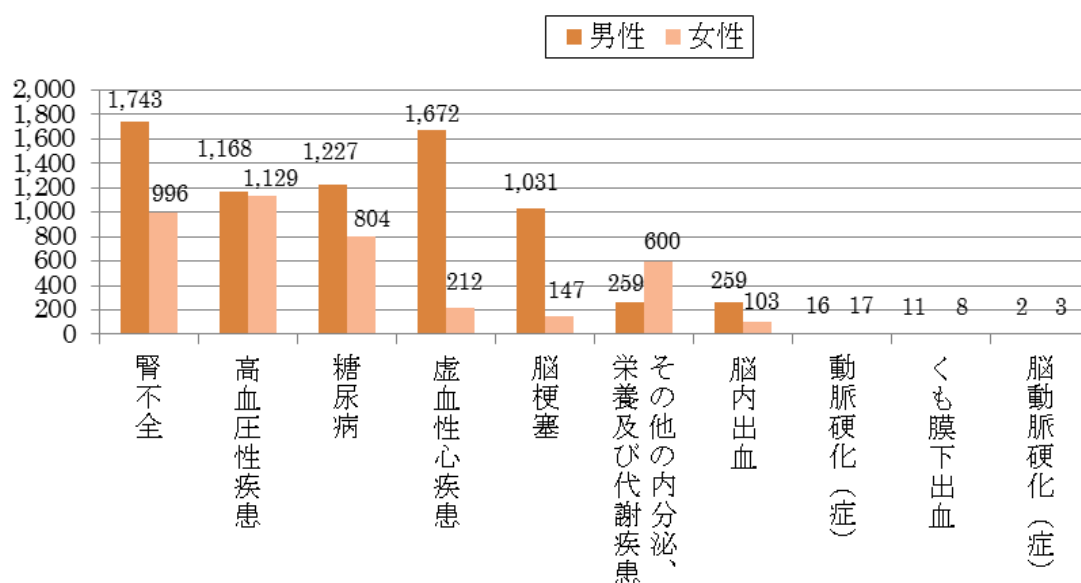
生活習慣病関連疾病の1人あたり医療費をみると、「腎不全」が1,357円、次いで「高血圧性疾患」が1,148円、「糖尿病」が1,009円と続いています。

男女別にみると、男性は「腎不全」が1,743円で最も高く、女性は「高血圧性疾患」が1,129円で最も高くなっています。また、男女差がみられる疾患は、「腎不全」、「糖尿病」、「虚血性心疾患」、「脳梗塞」は男性のほうが高く、「その他の内分泌、栄養及び代謝疾患」は女性のほうが高くなっています。

生活習慣病関連疾病の1人あたり医療費（円）



男女別生活習慣病関連疾病の1人あたり医療費（円）

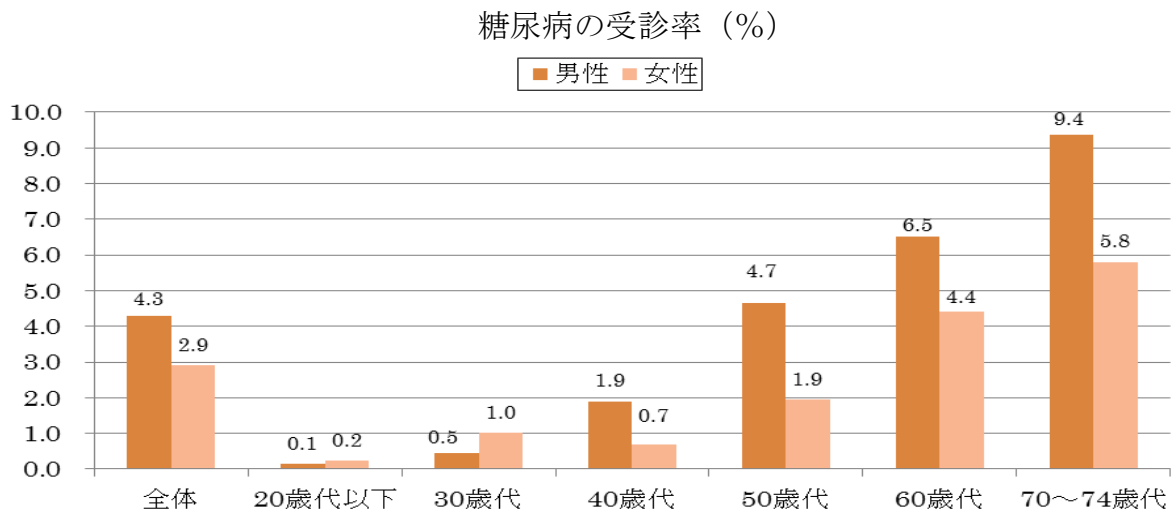


(3) 疾病別・年代別の受診率

①糖尿病

糖尿病の受診率をみると、全体で男性が 4.3%、女性が 2.9%と男性のほうが高くなっています。

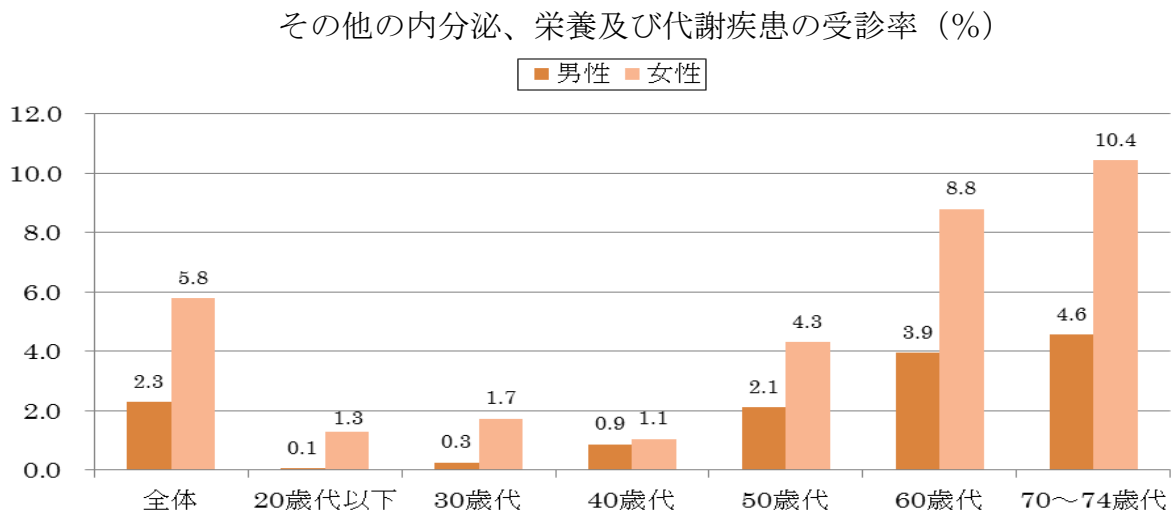
年齢別にみると、女性は 40 歳代で受診率が下がるものの男女ともに年齢が高くなるにつれて受診率も上がる傾向にあります。20 歳代以下と 30 歳代を除き、各年代で男性のほうが高くなっており、70～74 歳で差が大きくなっています。



②その他の内分泌、栄養及び代謝疾患

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患の受診率をみると、全体で男性が 2.3%、女性が 5.8%と女性のほうが高くなっています。

年齢別にみると、女性は 40 歳代で受診率が下がるものの男女ともに年齢が高くなるにつれて受診率も上がる傾向にあります。また、各年代ともに女性のほうが高くなっており、特に女性の 70～74 歳では 10%を超えています。

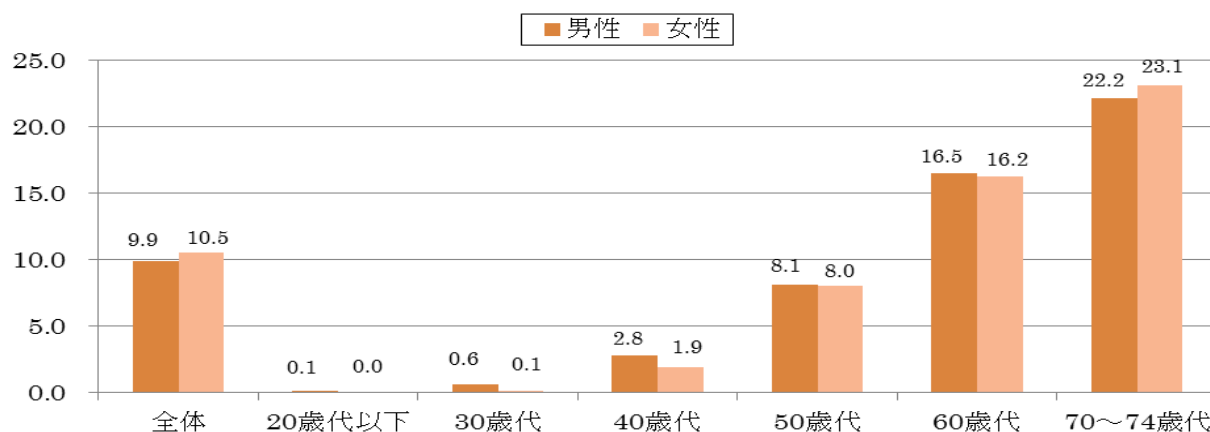


③高血圧性疾患

高血圧性疾患の受診率をみると、全体で男性が9.9%、女性が10.5%と女性がやや高くなっています。

年齢別にみると、男女とも年齢が高くなるにつれて受診率が上がっており、男女差も殆どみられません。男女ともに70～74歳代で20%を超えています。

高血圧性疾患の受診率 (%)

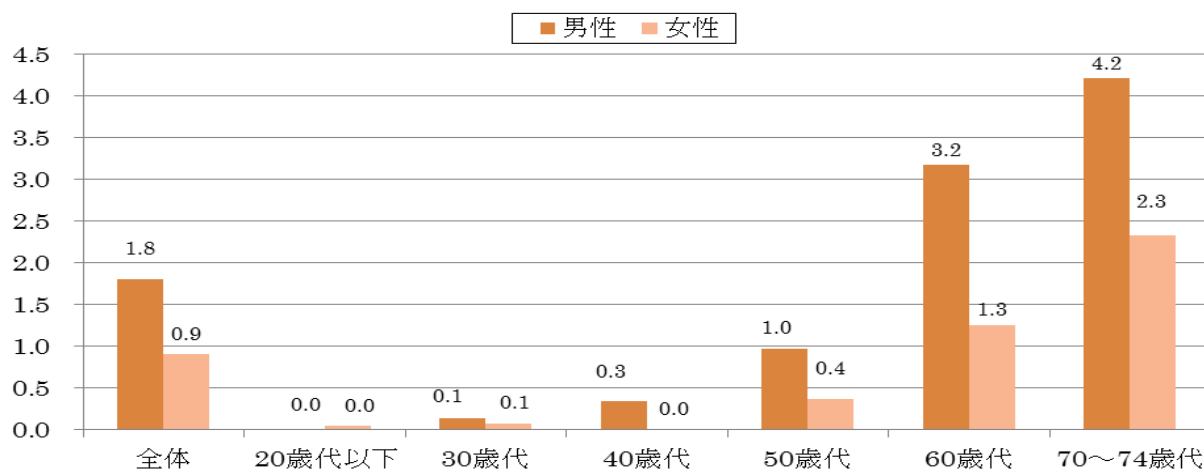


④虚血性心疾患

虚血性心疾患の受診率をみると、全体で男性が1.8%、女性が0.9%と男性のほうが高くなっています。

年齢別にみると、女性は40歳代で受診率が下がるものの男女ともに年齢が高くなるにつれて受診率も上がる傾向にあります。また、各年代ともに男性のほうが高くなっています。

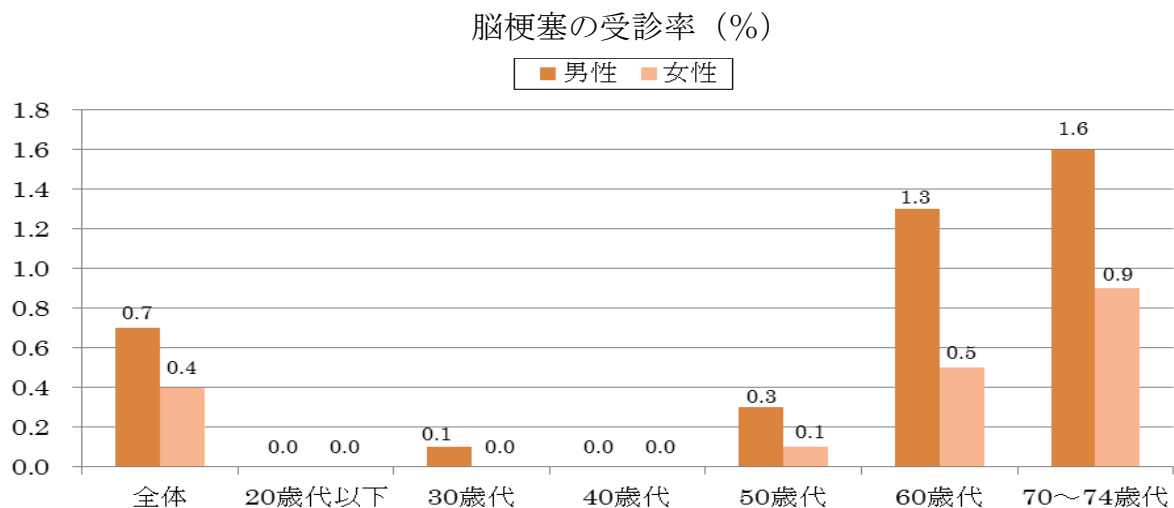
虚血性心疾患の受診率 (%)



⑤脳梗塞

脳梗塞の受診率をみると、全体で男性が 0.7%、女性が 0.4%と男性のほうがやや高くなっています。

年代別にみると、男女ともにおおよそ 50 歳代から年齢が高くなるにつれて受診率が上がっています。また、各年代とも男性のほうが多くなっており、60 歳代以上では男女で若干差がみられます。



資料2 平成22年度「保険者医療・介護等総合診断事業」結果より（一部抜粋）

（滋賀県国民健康保険団体連合会）

I. 目的

本研究事業は、昨年度に引き続き国保保険者の財政健全化・健康づくり推進等の政策立案に関する支援を行うことを目的として、国保保険者における医療費状況、介護状況、特定健診受診状況、自立支援状況などの課題・問題点を明らかにして、その対応策について提言するものである。なお、本年度は草津市、甲賀市、東近江市、日野町を分析した。本報告書は、その中の草津市版である。

II. 方法

1. 対象

滋賀県下19市町の国民健康保険および後期高齢者医療制度の被保険者のうち、平成21年5月審査分から平成22年4月審査分（以下、平成21年度とする）に医科レセプトまたは調剤レセプトが1件以上ある者（ただし、医科レセプトがなく歯科レセプトのあるものを除く）397,569人を対象とし、平成21年度の医療給付と介護給付状況、障害者自立支援給付状況および平成21年度の特定健診受診状況との関連について分析を行った。

1) 医療給付の状況について

上記対象者の平成21年度分の医科レセプト（入院155,952件、外来4,631,186件）および調剤レセプト（2,327,409件）の計7,114,547件により、1人1月当たり医療費（以下、1人当たり医療費）、受診率（100人当り年間レセプト件数）、1件当たり医療費、1件当たり日数、1日当たり医療費を算出するとともに、散布図により指標間の関連について分析を行い、医療費構造の検討を行った。またレセプト記載傷病名により、主要な生活習慣病について疾病別1人当たり医療費を算出するとともに、これらの疾病が重複した場合の影響についても検討を行った。

註；外来1人当たり医療費は医薬分業の影響を受けるため、外来医療費と調剤医療費を加えて外来・調剤1人当たり医療費を算出した。

2) 介護給付の状況について

（省略）

3) 特定健診受診状況について

すべての40歳以上74歳の国保被保険者225,028人、後期高齢者医療被保険者140,793人を対象とした。このうち医療を受けた健診受診者は55,936人（国保）、30,345人（後期高齢者）であった。また、未受診者は128,669人（国保）、104,367人（後期高齢者）で、健診受診・未受診別に医療費を分析した。

また、健診受診者のうち1項目でも受診勧奨値があり服薬（血圧・血糖・脂質）のない者について健診受診月以降のレセプト（生活習慣病のある）がない者を分析した。また、健診未受診者が生

活習慣病関連で医療機関に受診しているかどうかを分析した。

なお、特定健診受診の判定は、受診年月日、請求金額、健診医療機関番号がある者を受診者とした。

4) 障害者自立支援給付の状況について

(省略)

2. 統計手法

比較に際して、2群間の比較は t 検定、3群以上の比較の検定には Tukey -Kramer の多重比較を用いた。危険率 5%未満 ($p < 0.05$) で有意とした。

なお、国民健康保険および後期高齢者医療制度の資格状況、要介護認定状況および要介護度、自立支援認定状況および障害区分は、いずれも平成22年3月31日現在の状況を反映したものである。また、年齢計算基準日も平成22年3月31日とした。

3. 倫理的配慮

レセプトから個人が特定できないように、滋賀県国民健康保険団体連合会において連結不可能匿名化を図った。

4. 研究組織

龍谷大学社会学部教授 安西将也

龍谷大学社会学部教授 井上辰樹

高崎健康福祉大学健康福祉学部教授 延原弘章

Ⅲ. 結果・考察

Ⅰ. 一般医療費分析

1. 被保険者の受療割合・受診率（表1）

滋賀県全体で一般・退職および後期高齢者の被保険者は 471,083 人で、そのうち一般・退職は 70.1%，後期高齢者は 29.9%であった。また、そのうち医療を受けた者（受療割合）は一般・退職 79.6%，後期高齢者 95.7%であり、受診率はそれぞれ 95.0%，198.3%であった。

一方、草津市では、一般・退職および後期高齢者の被保険者は 35,242 人でそのうち一般・退職は 75.1%，後期高齢者は 24.9%であった。また、そのうち医療を受けた者（受療割合）は一般・退職 78.2%，後期高齢者 95.5%であり、受診率はそれぞれ 89.3%，196.2%であった。

すなわち、県全体、草津市ともに受療割合、受診率ともに後期高齢者が高いことがわかった。

表1 被保険者の受療割合・受診率

【県全体】

	計	一般・退職	後期高齢者
すべての被保険者数①	471,083人(100.0%) (100.0%)	330,290人(70.1%) (100.0%)	140,793人(29.9%) (100.0%)
①のうち医療を受けた被保険者数	397,569人(100.0%) (84.4%)	262,857人(66.1%) (79.6%)	134,712人(39.9%) (95.7%)
①のうち医療を受けていない被保険者数	73,514人(100.0%) (15.6%)	67,433人(91.7%) (20.4%)	6,081人(8.3%) (4.3%)
①のうち医療を受けたレセプト件数	7,114,547件(100.0%) (125.9%)	3,764,046件(52.9%) (95.0%)	3,350,501件(47.1%) (198.3%)

【草津市】

	計	一般・退職	後期高齢者
すべての被保険者数①	35,242人(100.0%) (100.0%)	26,466人(75.1%) (100.0%)	8,776人(24.9%) (100.0%)
①のうち医療を受けた被保険者数	29,069人(100.0%) (82.5%)	20,691人(71.2%) (78.2%)	8,378人(28.8%) (95.5%)
①のうち医療を受けていない被保険者数	6,173人(100.0%) (17.5%)	5,775人(93.6%) (21.8%)	398人(6.4%) (4.5%)
①のうち医療を受けたレセプト件数	490,339件(100.0%) (115.9%)	283,669件(57.9%) (89.3%)	206,670件(42.1%) (196.2%)

注：受療割合＝人数／被保険者数×100，受診率＝レセプト件数／被保険者数×100
 また、レセプト件数は、1年間の合計であるが、受診率は、1か月の平均値とした。
 上段が横行％，下段が縦列％

2. 市町別1人当たり医療費（表2）

草津市をみると、外来・調剤1人当たり医療費は20,562円で滋賀県下11位、入院1人当たり医療費は117,802円で滋賀県下5位であった。

すなわち、草津市においては、入院1人当たり医療費が高いことから、特に入院の医療費適正化対策の必要性が示唆された。

表2 市町別1人当たり医療費

市町	外来・調剤				入院			
	人数	平均値	順位	最大値	人数	平均値	順位	最大値
大津市	91,318	21,997	1	1,340,233	13,283	120,151	4	2,003,450
彦根市	31,255	21,524	4	788,093	3,874	114,953	8	1,328,997
長浜市	40,213	21,013	6	766,230	5,382	109,859	14	1,092,055
近江八幡市	23,467	21,864	2	2,057,396	3,058	123,162	2	1,688,468
東近江市	34,037	20,549	12	768,020	4,819	114,925	9	1,507,577
草津市	28,821	20,562	11	1,958,898	4,072	117,802	5	1,471,718
守山市	18,781	20,647	10	765,603	2,510	112,202	12	1,271,381
野洲市	13,521	19,956	15	707,594	1,845	117,265	6	1,161,323
湖南市	13,507	17,595	19	1,609,467	1,731	108,718	16	1,819,674
甲賀市	27,417	20,695	7	759,710	4,178	113,653	10	1,356,493
高島市	19,351	21,432	5	712,878	3,032	106,889	17	1,203,378
米原市	13,400	21,678	3	728,703	1,809	121,184	3	1,495,013
栗東市	14,389	19,039	18	4,758,968	1,794	105,826	18	1,534,475
日野町	7,350	20,651	9	612,256	1,050	109,312	15	1,179,190
竜王町	3,359	20,324	14	634,725	469	127,303	1	1,003,729
愛荘町	5,923	19,597	17	510,151	799	109,883	13	1,105,588
豊郷町	2,578	20,518	13	726,791	379	113,345	11	1,167,409
甲良町	3,056	19,919	16	694,043	413	104,737	19	772,806
多賀町	2,855	20,657	8	486,468	445	116,906	7	989,665
計	394,598	20,989		4,758,968	54,942	115,347		2,003,450

注：単位は円

2-1. 学区別1人当たり医療費

（省略）

3. 1人当たり医療費との関連指標

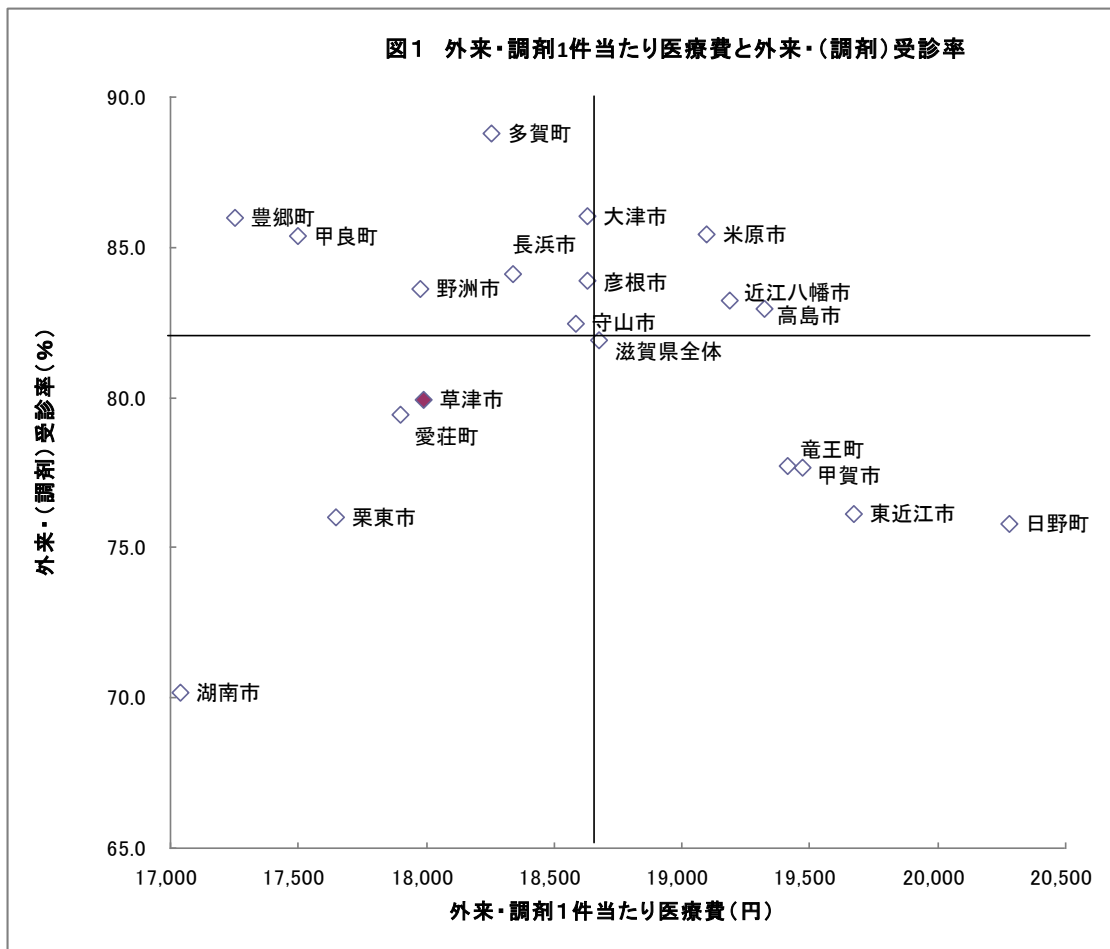
従来から、1人当たり医療費 = 1件当たり医療費 × 受診率 (=レセプト件数 / 被保険者数 × 100)、1件当たり医療費 = 1日当たり医療費 × 1件当たり日数で示される。そこで、以下では1人当たり医療費と1件当たり医療費の構成要素を分析した。

1) 1人当たり医療費の構成要素である1件当たり医療費と受診率

(1) 外来・調剤 (図1)

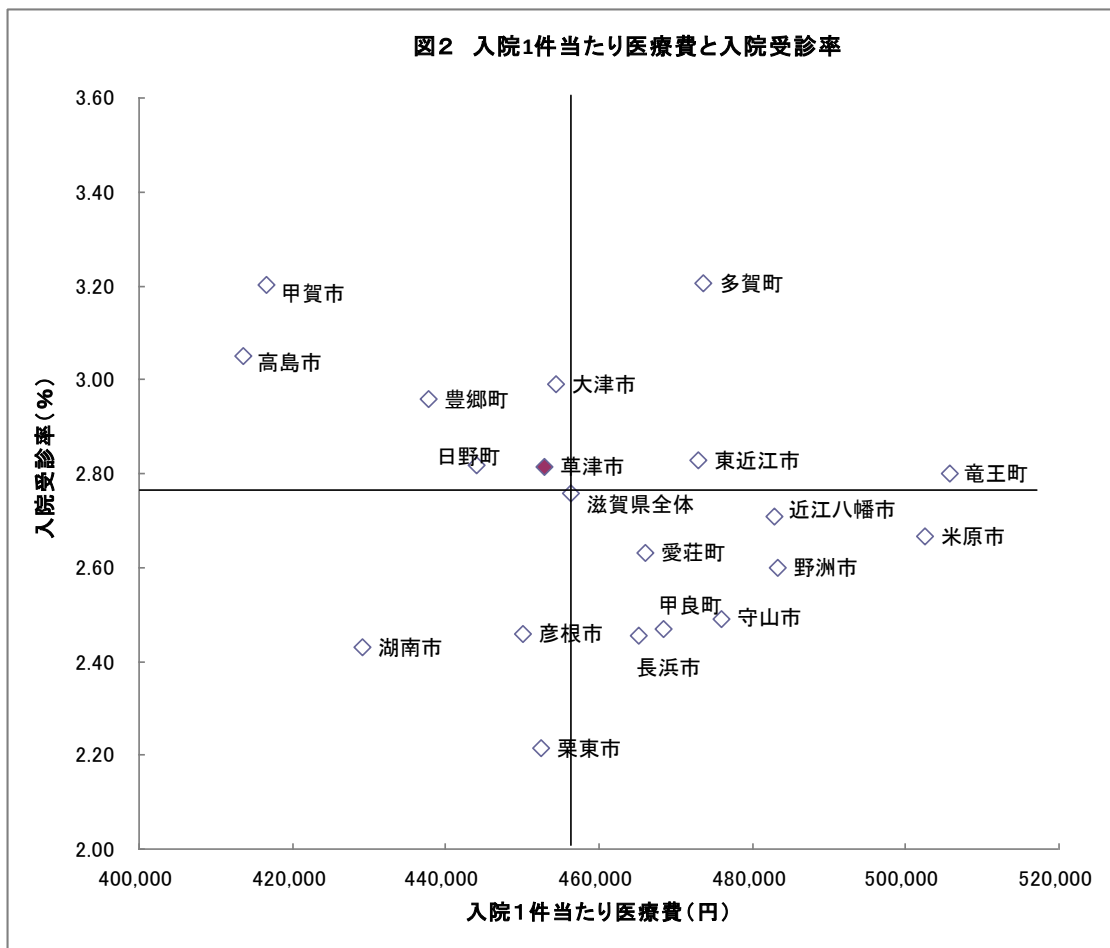
図1をみると、草津市の受診率は79.9%で県平均81.9%より低く、1件当たり医療費は17,988円で県平均18,676円より低い値であった。

すなわち、草津市では、受診率、1件当たり医療費とも県平均より低いことがわかった。



(2) 入院 (図2)

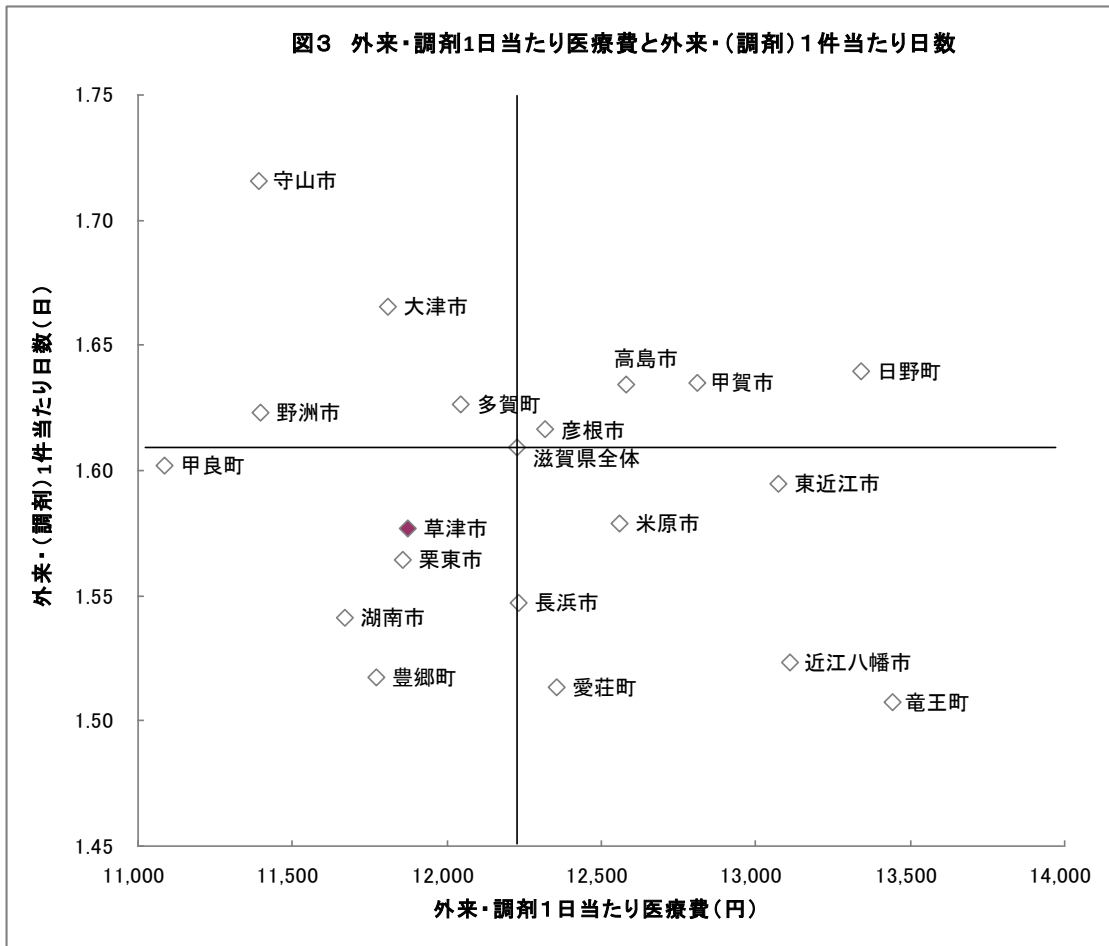
一方、図2で入院をみると、草津市の受診率は2.81%で県平均2.76%より若干高く、1件当たり医療費は452,908円で県平均456,350円より若干低い値であった。すなわち、草津市の入院1人当たり医療費が高い理由としては、1件当たり医療費よりも受診率が高いためであることがわかった。



2) 1件当り医療費の構成要素である1日当たり医療費と1件当り日数

(1) 外来・調剤 (図3)

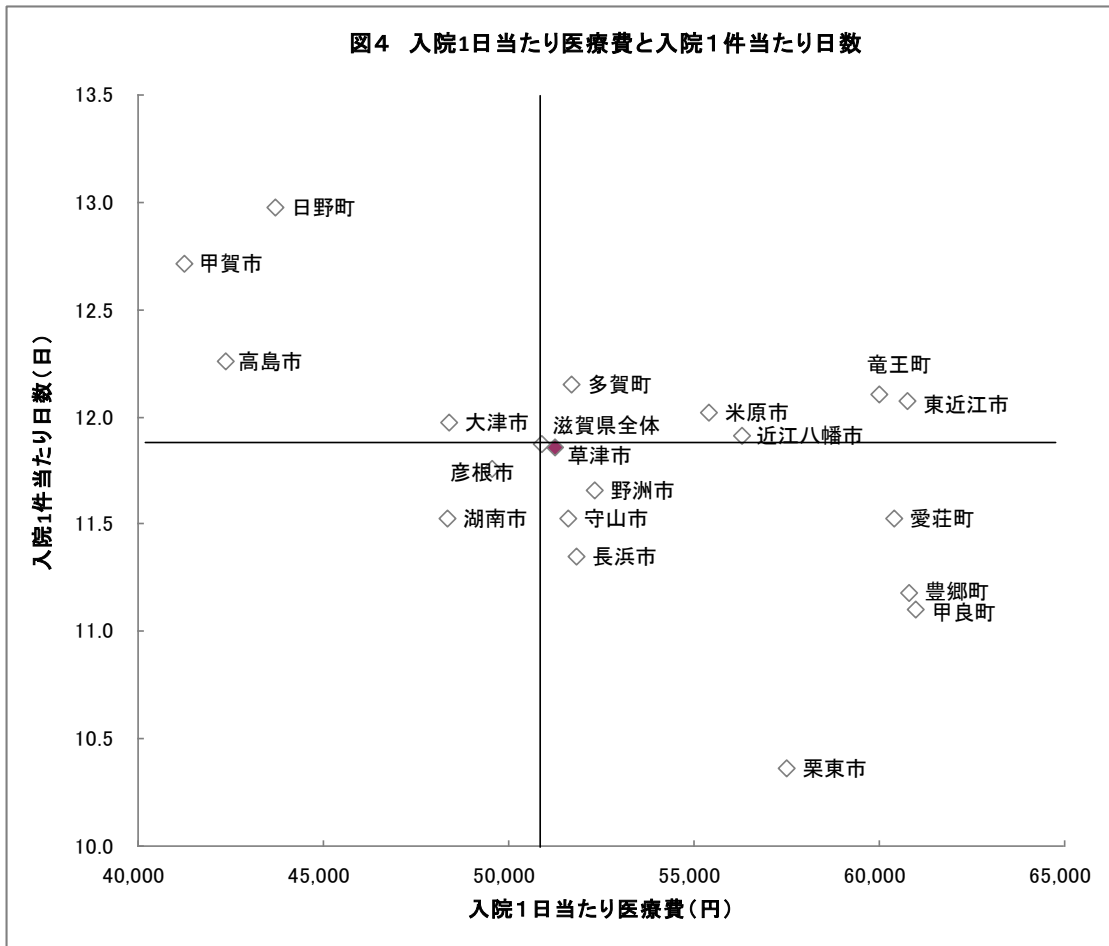
図3をみると、草津市の1日当たり医療費は11,872円で県平均12,226円より低く、1件当たり日数は1.58日で県平均1.61日より若干低い値であった。すなわち、草津市の外来・調剤については、1日当たり医療費、1件当たり日数ともに県平均より低いことがわかった。



(2) 入院 (図4)

一方, 図4で入院をみると, 草津市の1日あたり医療費は51,229円で県平均50,872円より高く, 1件あたり日数は11.86日で県平均11.87日とほぼ同じ値であった。

すなわち, 草津市では1件あたり医療費に, 1件あたり日数よりも1日あたり医療費の影響が大きいことがわかった。



3) 1件当たり日数の分布 (表3)

草津市のレセプト記載の通院日数の分布を検討した。草津市は、通院日数が2日までのレセプトが約85%以上を占めることがわかったが、1か月に最大30日も頻回に通院している者がいることがわかった。また、県全体でも31日通院のレセプトが21件もあった。

1件当たり金額は、13日～14日で特に高いことがわかった。県平均も同様の傾向にあり、人工透析患者と推測されるが、詳細については調査する必要がある。

注；30日の1件当たり医療費が1,587,310円で際立って高かったが、これはC型肝炎で毎日ベータインターフェロンを投与したためであった。

表3 1件当たり日数の分布

日数	県平均				草津市			
	件数	%	1件当たり 金額	1日当たり 金額	件数	%	1件当たり 金額	1日当たり 金額
0	7,837	0.2	8,118	—	765	0.2	8,579	—
1	3,113,767	67.2	8,840	8,840	232,275	68.7	10,303	10,303
2	898,861	19.4	16,546	8,273	63,647	18.8	17,215	8,608
3	259,527	5.6	23,175	7,725	18,228	5.4	24,043	8,014
4	120,361	2.6	27,984	6,996	7,509	2.2	28,889	7,222
5	57,571	1.2	32,658	6,532	3,679	1.1	33,837	6,767
6	29,874	0.6	33,256	5,543	1,890	0.6	31,284	5,214
7	23,575	0.5	33,087	4,727	1,546	0.5	33,318	4,760
8	22,568	0.5	37,027	4,628	1,363	0.4	34,348	4,294
9	17,254	0.4	44,466	4,941	1,092	0.3	45,983	5,109
10	10,635	0.2	40,601	4,060	721	0.2	43,161	4,316
11	9,396	0.2	44,294	4,027	707	0.2	51,563	4,688
12	10,608	0.2	104,750	8,729	812	0.2	110,077	9,173
13	17,167	0.4	259,543	19,965	1,502	0.4	271,849	20,911
14	8,036	0.2	205,315	14,665	631	0.2	224,729	16,052
15	4,086	0.1	81,154	5,410	305	0.1	84,882	5,659
16	3,369	0.1	58,433	3,652	248	0.1	60,983	3,811
17	2,923	0.1	54,583	3,211	239	0.1	53,425	3,143
18	2,684	0.1	52,400	2,911	204	0.1	57,505	3,195
19	2,414	0.1	53,019	2,790	151	0.0	58,866	3,098
20	1,989	0.0	50,894	2,545	139	0.0	49,157	2,458
21	1,828	0.0	55,109	2,624	120	0.0	66,326	3,158
22	1,560	0.0	54,577	2,481	102	0.0	51,266	2,330
23	1,325	0.0	47,855	2,081	62	0.0	40,233	1,749
24	744	0.0	48,895	2,037	35	0.0	40,396	1,683
25	601	0.0	49,414	1,977	32	0.0	45,910	1,836
26	475	0.0	52,636	2,024	40	0.0	46,705	1,796
27	54	0.0	85,602	3,170	5	0.0	38,290	1,418
28	27	0.0	90,284	3,224	0	0.0	—	—
29	22	0.0	69,793	2,407	1	0.0	204,800	7,062
30	27	0.0	177,146	5,905	1	0.0	1,587,310	52,910
31	21	0.0	156,624	5,052	0	0.0	—	—
計	4,631,186	100.0	14,376	7,987	338,051	100.0	15,659	9,211

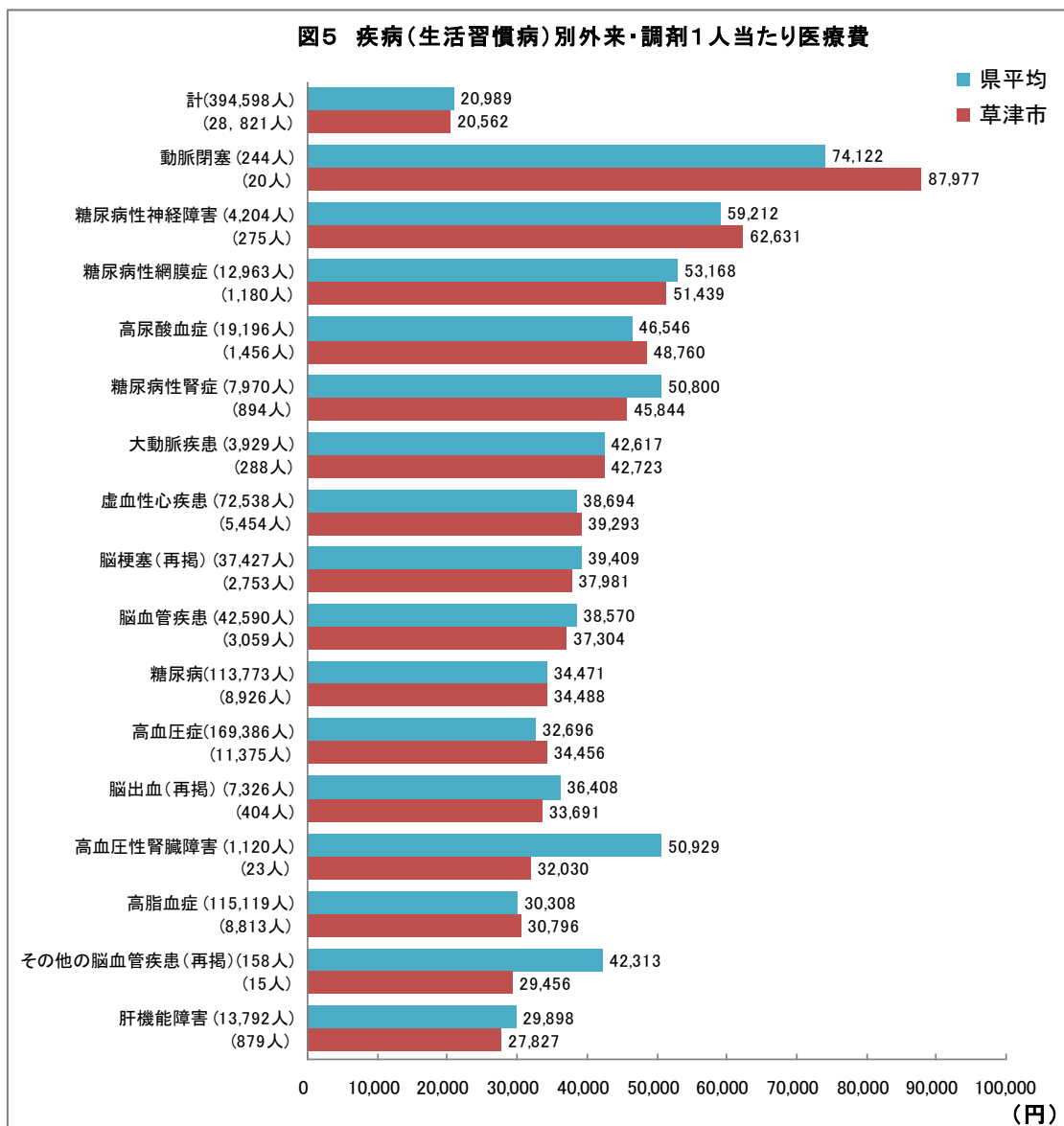
注；この表の1件当たり医療費は、他の図表の1人1件当たり医療費とは異なる。

4. 疾病（生活習慣病）別1人当たり医療費

1) 外来・調剤（図5）

草津市の疾病（特に、生活習慣病）をみると、動脈閉塞 87,977 円が最も高く、つづいて糖尿病性神経障害 62,631 円、糖尿病性網膜症 51,439 円、高尿酸血症 48,760 円、糖尿病性腎症 45,844 円などの順に高いことがわかった。草津市のすべての疾患を平均した1人当たり医療費は 20,562 円であったが、これらは県平均よりも高かったことは注目したい。

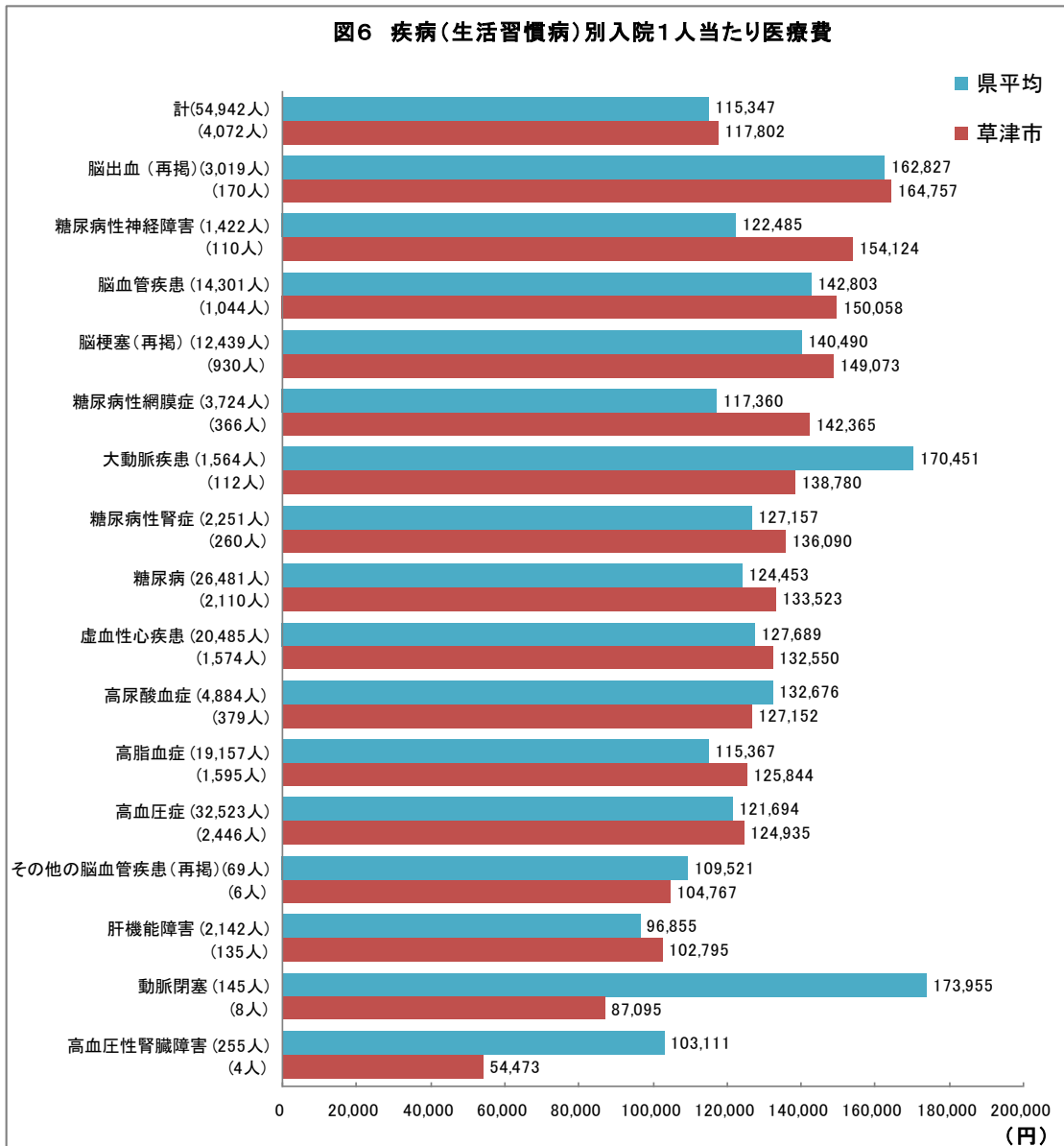
すなわち、草津市の医療費適正化対策として特に糖尿病とその合併症対策が最重要課題であることを示唆していた。



2) 入院 (図 6)

草津市の入院の疾病（特に、生活習慣病）をみると、脳出血 164,757 円が最も高く、つづいて糖尿病性神経障害 154,124 円、脳梗塞 149,073 円などの順に高いことがわかった。

すなわち、特に脳出血、脳梗塞が目立っていたことに注目したい。また、草津市は外来でも高かった「糖尿病性神経障害」が県平均と比べて際立って高いことに注意したい。



5. 単一疾病, 2疾病, 3疾病別の1月当たり件数・1人当たり医療費

生活習慣病のなかでも、特に糖尿病, 高血圧症, 高脂血症の3疾病に注目して、その重複状況を検討した。

1) 1月当たり件数 (表4-1, 4-2)

草津市の外来では、糖尿病, 高血圧症, 高脂血症の3疾病のうちどれか2疾病の者が5,948人, 3疾病の者が3,686人いることがわかった。特に、2疾病は滋賀県下5位, 3疾病は滋賀県下4位であり、重複疾患をもつレセプトが多いことがわかった。

一方、入院では、糖尿病, 高血圧症, 高脂血症の3疾病のうちどれか2疾病の者が1,137人, 3疾病の者が952人いることがわかった。特に、2疾病は滋賀県下2位, 3疾病は滋賀県下1位であり、重複疾患をもつレセプトが多いことがわかった。

表4-1 単一疾病, 2疾病, 3疾病別の外来1人1月当たり件数

注: 対象疾病は糖尿病, 高血圧症, 高脂血症

市町	いずれもなし			単一疾病			2疾病			3疾病		
	人数	1月当たり件数	順位	人数	1月当たり件数	順位	人数	1月当たり件数	順位	人数	1月当たり件数	順位
大津市	40,356	0.575	3	22,666	1.251	3	18,786	1.453	2	9,498	1.611	3
彦根市	12,820	0.530	11	7,228	1.183	9	7,184	1.381	6	4,018	1.525	5
長浜市	16,186	0.550	4	10,689	1.169	12	9,161	1.349	8	4,172	1.485	7
近江八幡市	9,480	0.540	8	5,962	1.179	11	5,442	1.344	11	2,575	1.489	6
東近江市	14,025	0.510	18	8,088	1.091	16	7,992	1.234	18	3,923	1.316	18
草津市	13,021	0.536	10	6,160	1.187	8	5,948	1.385	5	3,686	1.529	4
守山市	8,413	0.550	5	4,474	1.204	5	3,961	1.388	4	1,924	1.466	10
野洲市	6,151	0.603	1	3,560	1.211	4	2,643	1.350	7	1,166	1.461	11
湖南市	6,895	0.510	17	3,016	1.113	15	2,387	1.285	15	1,209	1.374	15
甲賀市	11,088	0.519	16	6,892	1.091	17	6,255	1.250	16	3,174	1.343	17
高島市	7,517	0.521	15	4,755	1.180	10	4,643	1.311	13	2,432	1.440	13
米原市	5,048	0.547	6	3,700	1.167	13	3,192	1.300	14	1,460	1.433	14
栗東市	7,117	0.522	13	3,052	1.161	14	2,691	1.347	9	1,526	1.478	8
日野町	2,830	0.499	19	1,903	1.052	19	1,808	1.199	19	806	1.280	19
竜王町	1,421	0.522	14	872	1.087	18	648	1.248	17	418	1.370	16
愛荘町	2,740	0.525	12	1,434	1.188	7	1,221	1.345	10	527	1.448	12
豊郷町	1,208	0.545	7	526	1.309	1	537	1.471	1	307	1.614	2
甲良町	1,454	0.538	9	713	1.291	2	601	1.443	3	286	1.656	1
多賀町	1,076	0.584	2	788	1.202	6	695	1.317	12	295	1.476	9
計	168,846	0.544		96,478	1.180		85,795	1.352		43,402	1.482	

注: 単位は件

表4-2 単一疾病, 2疾病, 3疾病別の入院1人1月当たり件数

注: 対象疾病は糖尿病, 高血圧症, 高脂血症

市町	いずれもなし			単一疾病			2疾病			3疾病		
	人数	1月当たり件数	順位	人数	1月当たり件数	順位	人数	1月当たり件数	順位	人数	1月当たり件数	順位
大津市	3,252	0.246	7	3,811	0.267	4	3,796	0.240	5	2,424	0.223	3
彦根市	939	0.248	6	1,039	0.265	6	1,128	0.227	10	768	0.202	14
長浜市	1,292	0.210	17	1,632	0.231	19	1,575	0.219	13	883	0.196	17
近江八幡市	727	0.288	1	790	0.279	1	880	0.229	9	661	0.191	18
東近江市	1,074	0.263	3	1,315	0.266	5	1,499	0.222	12	931	0.201	15
草津市	962	0.230	11	1,021	0.260	7	1,137	0.249	2	952	0.232	1
守山市	615	0.206	18	703	0.236	18	731	0.226	11	461	0.206	12
野洲市	494	0.213	14	538	0.244	12	495	0.217	15	318	0.220	4
湖南市	529	0.212	15	462	0.269	3	443	0.235	7	297	0.205	13
甲賀市	887	0.274	2	1,268	0.255	9	1,262	0.244	3	761	0.224	2
高島市	765	0.239	9	846	0.240	14	888	0.232	8	533	0.210	10
米原市	385	0.239	10	588	0.242	13	558	0.218	14	278	0.216	5
栗東市	484	0.195	19	430	0.239	15	490	0.212	17	390	0.210	9
日野町	249	0.251	5	293	0.251	11	328	0.216	16	180	0.216	6
竜王町	100	0.227	12	125	0.238	17	138	0.257	1	106	0.214	7
愛荘町	207	0.243	8	227	0.255	8	235	0.211	18	130	0.200	16
豊郷町	106	0.220	13	97	0.278	2	108	0.241	4	68	0.210	11
甲良町	115	0.211	16	113	0.254	10	113	0.202	19	72	0.170	19
多賀町	100	0.253	4	140	0.239	16	139	0.236	6	66	0.212	8
計	13,282	0.239		15,438	0.256		15,943	0.231		10,279	0.212	

注: 単位は件

注: 件数は、レセプトのない月を含めて12ヶ月で除いていることに注意

2) 1人当たり医療費 (表5-1, 5-2)

草津市の外来・調剤1人当たり医療費では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の3疾病のうちどれか1疾病の者が25,188円、2疾病の者が31,760円、3疾病の者が39,628円で高いことがわかった。特に、1疾病は滋賀県下7位、2疾病は滋賀県下8位、3疾病は滋賀県下7位であり、重複して疾患をもつ者の1人当たり医療費が高いことがわかった。

一方、入院では、糖尿病、高血圧症、高脂血症の3疾病のうちどれか1疾病の者が120,854円、2疾病の者が121,607円、3疾病の者が135,896円で高いことがわかった。特に、2疾病は滋賀県下6位、3疾病は滋賀県下4位であり、重複して疾患をもつ者の1人当たり医療費が高いことがわかった。

表5-1 単一疾病、2疾病、3疾病別の外来・調剤1人当たり医療費

注:対象疾病は糖尿病,高血圧症,高脂血症

市町	いずれもなし			単一疾病			2疾病			3疾病		
	人数	1人当たり医療費	順位	人数	1人当たり医療費	順位	人数	1人当たり医療費	順位	人数	1人当たり医療費	順位
大津市	40,367	9,192	2	22,667	26,940	2	18,786	33,873	2	9,498	41,131	2
彦根市	12,825	8,672	7	7,228	25,126	8	7,184	31,011	12	4,018	39,107	8
長浜市	16,191	8,257	10	10,689	24,817	10	9,161	31,239	10	4,172	38,318	10
近江八幡市	9,487	8,542	8	5,963	26,062	3	5,442	31,770	7	2,575	40,288	5
東近江市	14,033	8,132	13	8,089	24,538	14	7,992	30,571	15	3,923	36,323	16
草津市	13,027	7,867	15	6,160	25,188	7	5,948	31,760	8	3,686	39,628	7
守山市	8,422	8,191	12	4,474	25,783	5	3,961	32,744	4	1,924	38,328	9
野洲市	6,152	8,886	5	3,560	23,761	15	2,643	31,386	9	1,166	40,833	4
湖南市	6,895	7,212	18	3,016	22,011	19	2,387	30,204	16	1,209	40,906	3
甲賀市	11,095	8,504	9	6,893	24,755	12	6,255	29,623	17	3,174	36,895	13
高島市	7,521	8,040	14	4,755	24,848	9	4,643	30,818	13	2,432	38,250	11
米原市	5,048	9,046	3	3,700	25,893	4	3,192	30,578	14	1,460	35,209	17
栗東市	7,120	7,091	19	3,052	25,750	6	2,691	31,120	11	1,526	40,060	6
日野町	2,833	8,803	6	1,903	24,775	11	1,808	28,557	18	806	34,820	18
竜王町	1,421	8,965	4	872	23,310	17	648	32,543	5	418	33,767	19
愛荘町	2,741	8,203	11	1,434	24,665	13	1,221	31,925	6	527	36,508	15
豊郷町	1,208	7,552	16	526	27,940	1	537	33,256	3	307	36,539	14
甲良町	1,456	7,448	17	713	23,624	16	601	34,039	1	286	44,495	1
多賀町	1,077	9,707	1	788	22,447	18	695	28,378	19	295	37,660	12
計	168,919	8,457		96,482	25,374		85,795	31,653		43,402	38,936	

注:単位は円

表5-2 単一疾病、2疾病、3疾病別の入院1人当たり医療費

注:対象疾病は糖尿病,高血圧症,高脂血症

市町	いずれもなし			単一疾病			2疾病			3疾病		
	人数	1人当たり医療費	順位	人数	1人当たり医療費	順位	人数	1人当たり医療費	順位	人数	1人当たり医療費	順位
大津市	3,252	100,079	10	3,811	127,873	2	3,796	124,360	3	2,424	128,345	8
彦根市	939	104,004	5	1,039	127,465	3	1,128	116,792	12	768	108,711	17
長浜市	1,292	88,271	14	1,632	117,846	10	1,575	115,105	14	883	117,323	14
近江八幡市	727	117,829	1	790	127,934	1	880	123,501	4	661	122,871	11
東近江市	1,074	107,072	4	1,315	119,528	9	1,499	112,648	15	931	121,151	13
草津市	962	92,159	12	1,021	120,854	8	1,137	121,607	6	952	135,896	4
守山市	615	86,082	15	703	114,208	15	731	126,457	2	461	121,386	12
野洲市	494	89,790	13	538	126,324	4	495	122,967	5	318	135,745	5
湖南市	529	84,473	16	462	126,087	5	443	118,598	8	297	110,149	16
甲賀市	887	109,705	2	1,268	111,679	18	1,262	116,272	13	761	117,201	15
高島市	765	101,420	6	846	110,983	19	888	106,999	17	533	108,055	18
米原市	385	101,179	7	588	126,058	6	558	118,490	9	278	143,989	1
栗東市	484	75,943	19	430	116,634	12	490	109,648	16	390	126,193	10
日野町	249	101,179	7	293	116,433	13	328	99,237	19	180	127,328	9
竜王町	100	92,215	11	125	111,786	17	138	159,422	1	106	136,888	3
愛荘町	207	100,848	9	227	113,759	16	235	101,790	18	130	132,129	6
豊郷町	106	82,348	17	97	123,158	7	108	117,077	11	68	141,737	2
甲良町	115	77,063	18	113	116,990	11	113	119,325	7	72	106,811	19
多賀町	100	109,407	3	140	115,937	14	139	117,653	10	66	128,753	7
計	13,282	98,094		15,438	121,474		15,943	118,504		10,279	123,541	

注:単位は円

6. 生活習慣病の組み合わせ別1人当たり医療費

1) 外来・調剤1人当たり医療費(表6)

滋賀県全体の生活習慣病の組み合わせで外来・調剤1人当たり医療費をみると、「糖尿病」との組み合わせは、動脈閉塞 74,122 円、糖尿病性神経障害 59,212 円、高血圧性腎臓障害 58,569 円、糖尿病性網膜症 53,168 円、糖尿病性腎症 50,800 円などの順に高かった。

一方、草津市をみると、「糖尿病」との組み合わせは、動脈閉塞 87,977 円、糖尿病性神経障害 62,631 円、高尿酸血症 51,727 円、糖尿病性網膜症 51,439 円などの順に高かった。

すなわち、県と比べて草津市では糖尿病と高尿酸血症の組み合わせが目立っていた。

表6 生活習慣病の組み合わせ別調剤・外来1人当たり医療費

	滋賀県								草津市							
	糖尿病		糖尿病性神経障害		糖尿病性網膜症		糖尿病性腎症		糖尿病		糖尿病性神経障害		糖尿病性網膜症		糖尿病性腎症	
	人数	1人当たり医療費	人数	1人当たり医療費	人数	1人当たり医療費	人数	1人当たり医療費	人数	1人当たり医療費	人数	1人当たり医療費	人数	1人当たり医療費	人数	1人当たり医療費
糖尿病	113,773	34,471							8,926	34,488						
高血圧症	78,390	38,257							6,095	39,031						
高脂血症	58,825	35,650							5,023	35,750						
高尿酸血症	10,471	50,479							843	51,727						
肝機能障害	8,066	34,296							517	31,636						
糖尿病性神経障害	4,204	59,212	4,204	59,212					275	62,631	275	62,631				
糖尿病性網膜症	12,963	53,168	2,230	66,184	12,963	53,168			1,180	51,439	161	73,420	1,180	51,439		
糖尿病性腎症	7,970	50,800	1,581	62,801	3,428	62,099	7,970	50,800	894	45,844	98	69,436	335	54,015	894	45,844
高血圧性腎臓障害	553	58,569	27	112,063	57	109,341	107	48,212	15	36,234	2	93,666	3	70,288	0	—
脳血管疾患	22,583	44,139	1,183	68,160	2,905	67,505	1,804	65,919	1,843	42,554	93	78,876	289	60,425	206	59,553
脳出血(再掲)	3,484	43,935	154	76,440	370	73,059	236	62,021	212	41,964	6	130,282	27	53,652	20	50,516
脳梗塞(再掲)	20,385	44,517	1,103	67,769	2,694	67,746	1,666	66,808	1,699	42,637	91	74,895	274	60,830	191	59,580
その他の脳血管疾患(再掲)	78	48,902	5	71,699	8	93,805	8	38,094	9	40,204	0	—	0	—	1	19,204
虚血性心疾患	39,080	43,595	1,987	69,965	5,237	66,286	3,611	61,150	3,434	42,342	140	75,363	519	61,735	490	51,965
動脈閉塞	244	74,122	85	75,332	121	92,865	84	93,137	20	87,977	8	102,679	11	97,291	8	99,270
大動脈疾患	2,129	46,546	62	79,898	162	62,530	121	63,759	173	44,624	5	87,828	12	50,550	15	56,931

2) 入院1人当たり医療費（表7）

滋賀県全体の生活習慣病の組み合わせで入院1人当たり医療費をみると、「糖尿病」との組み合わせは、大動脈疾患 183,696 円、動脈閉塞 173,955 円、脳出血 159,248 円などの順に高かった。

一方、草津市をみると、「糖尿病」との組み合わせは、脳出血 161,624 円、糖尿病性神経障害 154,124 円、脳梗塞 152,354 円などの順に高かった。

すなわち、県と比べて草津市では糖尿病と脳血管疾患との組み合わせが目立っていた。

表7 生活習慣病の組み合わせ別入院1人当たり医療費

	滋賀県								草津市							
	糖尿病		糖尿病性神経障害		糖尿病性網膜症		糖尿病性腎症		糖尿病		糖尿病性神経障害		糖尿病性網膜症		糖尿病性腎症	
	人数	1人当たり医療費	人数	1人当たり医療費	人数	1人当たり医療費	人数	1人当たり医療費	人数	1人当たり医療費	人数	1人当たり医療費	人数	1人当たり医療費	人数	1人当たり医療費
糖尿病	26,481	124,453							2,110	133,523						
高血圧症	19,198	125,363							1,582	132,616						
高脂血症	12,833	120,920							1,157	135,332						
高尿酸血症	3,209	139,790							264	137,170						
肝機能障害	1,540	99,943							98	101,224						
糖尿病性神経障害	1,422	122,485	1,422	122,485					110	154,124	110	154,124				
糖尿病性網膜症	3,724	117,360	854	115,452	3,724	117,360			366	142,365	74	133,500	366	142,365		
糖尿病性腎症	2,251	127,157	596	123,089	1,161	119,630	2,251	127,157	260	136,090	50	152,616	127	128,624	260	136,090
高血圧性腎臓障害	161	96,210	13	75,247	34	70,371	30	130,598	4	54,473	2	76,750	3	58,166	0	
脳血管疾患	8,476	142,820	545	148,868	1,250	138,927	798	159,730	684	152,177	52	168,689	135	158,225	93	170,602
脳出血(再掲)	1,650	159,248	91	152,824	209	151,420	134	184,158	96	161,624	4	246,133	10	242,986	6	250,338
脳梗塞(再掲)	7,557	141,714	503	152,025	1,146	140,537	735	161,775	625	152,354	50	162,450	130	155,571	90	173,538
その他の脳血管疾患(再掲)	40	129,128	1	271,726	3	114,338	1	55,813	4	33,934	0	—	0	—	0	—
虚血性心疾患	13,031	131,381	858	134,537	2,081	130,685	1,372	141,293	1,128	137,489	73	161,934	214	156,799	186	136,347
動脈閉塞	145	173,955	51	178,597	73	173,292	53	185,073	8	87,095	3	52,677	4	68,311	4	66,389
大動脈疾患	968	183,696	32	111,719	89	164,260	69	167,125	78	151,813	3	136,534	8	165,463	12	98,190

B. 介護分析

(省略)

C. 特定健診分析

1. 特定健診受診有無別の受療割合（表 12）

滋賀県すべての40歳以上74歳の国保被保険者225,028人、後期高齢者140,793人を対象としたが、以下では国保一般について分析・検討することとした。（後期高齢者は資料参照）

このうち健診受診者は60,133人（26.7%）、また、医療を受けた被保険者184,605人（82.0%）のうち健診受診者は55,936人（30.3%）であった。

一方、草津市では、40歳以上74歳の国保被保険者17,602人で、このうち健診受診者は5,433人（30.9%）、また、医療を受けた被保険者14,373人（81.7%）のうち健診受診者は5,166人（35.9%）であった。

表12 特定健診受診有無別の受療割合

県全体

	国保・一般	後期高齢者	特定健診受診		特定健診未受診	
			国保・一般	後期高齢者	国保・一般	後期高齢者
すべての40歳以上の被保険者①	225,028人(100.0%) (100.0%)	140,793人(100.0%) (100.0%)	60,133人(26.7%) (100.0%)	30,923人(22.0%) (100.0%)	164,895人(73.2%) (100.0%)	109,870人(78.0%) (100.0%)
①のうち医療を受けた40歳以上の被保険者	184,605人(100.0%) (82.0%)	134,712人(100.0%) (95.7%)	55,936人(30.3%) (93.0%)	30,345人(22.5%) (98.1%)	128,669人(69.7%) (78.0%)	104,367人(77.5%) (95.0%)
①のうち医療を受けていない40歳以上の被保険者	40,423人(100.0%) (18.0%)	6,081人(100.0%) (4.3%)	4,197人(10.4%) (7.0%)	578人(9.5%) (1.9%)	36,226人(89.6%) (22.0%)	5,503人(90.5%) (5.0%)

草津市

	国保・一般	後期高齢者	特定健診受診		特定健診未受診	
			国保・一般	後期高齢者	国保・一般	後期高齢者
すべての40歳以上の被保険者①	17,602人(100.0%) (100.0%)	8,776人(100.0%) (100.0%)	5,433人(30.9%) (100.0%)	2,771人(31.6%) (100.0%)	12,169人(69.1%) (100.0%)	6,005人(68.4%) (100.0%)
①のうち医療を受けた40歳以上の被保険者	14,373人(100.0%) (81.7%)	8,378人(100.0%) (95.5%)	5,166人(35.9%) (95.1%)	2,737人(32.7%) (98.8%)	9,207人(64.1%) (75.7%)	5,641人(67.3%) (93.9%)
①のうち医療を受けていない40歳以上の被保険者	3,229人(100.0%) (18.3%)	398人(100.0%) (4.5%)	267人(8.3%) (4.9%)	34人(8.5%) (1.2%)	2,962人(91.7%) (24.3%)	364人(91.5%) (6.1%)

注;上段が横行%, 下段が縦列%

2. 市町別国保被保険者の特定健診受診状況（表 13）

草津市の特定健診受診率は 30.9%で、県平均 26.7%よりも高かった。また、全市町のなかで上位 7 位であった。今後、一層の受診率向上を目指してほしい。

ちなみに、草津市の特定健診実施計画目標値は、H20 (30%)、H21 (40%)、H22 (50%)、H23 (60%)、H24 (65%) となっている。

表13 市町別国保被保険者の特定健診受診状況
国保

市町	受診			未受診			計	
	人数	%	順位	人数	%	順位	人数	%
大津市	16,348	30.5	8	37,273	69.5	12	53,621	100.0
彦根市	3,684	21.1	17	13,807	78.9	3	17,491	100.0
長浜市	1,182	5.5	19	20,445	94.5	1	21,627	100.0
近江八幡市	2,434	17.7	18	11,336	82.3	2	13,770	100.0
東近江市	4,935	26.3	11	13,846	73.7	9	18,781	100.0
草津市	5,433	30.9	7	12,169	69.1	13	17,602	100.0
守山市	3,380	31.0	6	7,508	69.0	14	10,888	100.0
野洲市	3,296	41.1	1	4,731	58.9	19	8,027	100.0
湖南市	2,015	23.8	14	6,434	76.2	6	8,449	100.0
甲賀市	5,432	35.7	4	9,772	64.3	16	15,204	100.0
高島市	3,247	30.0	9	7,562	70.0	11	10,809	100.0
米原市	2,738	38.1	2	4,449	61.9	18	7,187	100.0
栗東市	2,318	27.8	10	6,023	72.2	10	8,341	100.0
日野町	829	21.4	16	3,038	78.6	4	3,867	100.0
竜王町	478	25.3	13	1,413	74.7	7	1,891	100.0
愛荘町	1,084	35.4	5	1,975	64.6	15	3,059	100.0
豊郷町	319	23.7	15	1,029	76.3	5	1,348	100.0
甲良町	597	37.4	3	998	62.6	17	1,595	100.0
多賀町	384	26.1	12	1,087	73.9	8	1,471	100.0
計	60,133	26.7		164,895	73.3		225,028	100.0

注；受診年月日，請求金額，健診機関番号を満たしたデータを特定健診受診とした。

3. 市町別特定健診受診状況別外来・調剤，入院別1人当たり医療費（表14）

滋賀県の特定健診受診者 55,929 人の外来・調剤1人当たり医療費は 15,832 円で，未受診者 127,738 人の外来・調剤1人当たり医療費は 19,956 円で，健診受診者の方が低かった。

一方，草津市の特定健診受診者 5,164 人の外来・調剤1人当たり医療費は 16,595 円で，未受診者 9,139 人の外来・調剤1人当たり医療費は 20,208 円で，健診受診者の方が低かった。**すなわち，県全体，草津市ともに特定健診受診者の外来・調剤1人当たり医療費が低いことがわかった。なお，草津市の健診受診者の外来・調剤1人当たり医療費は県全体で上位4位であったことに注意したい。**

一方，入院では滋賀県の特定健診受診者 4,466 人の入院1人当たり医療費は 67,550 円で，未受診者 15,631 人の入院1人当たり医療費は 120,804 円で，健診受診者の方がかなり低かった。

一方，草津市の特定健診受診者 489 人の入院1人当たり医療費は 71,397 円で，未受診者 1,133 人の入院1人当たり医療費は 124,318 円で，健診受診者の方がかなり低かった。**すなわち，県全体，草津市ともに特定健診受診者の入院1人当たり医療費が低いことがわかった。なお，草津市の健診受診者の入院1人当たり医療費は県全体で上位5位であったことに注意したい。**

表14 市町別特定健診受診状況別外来・調剤，入院別1人当たり医療費

国保

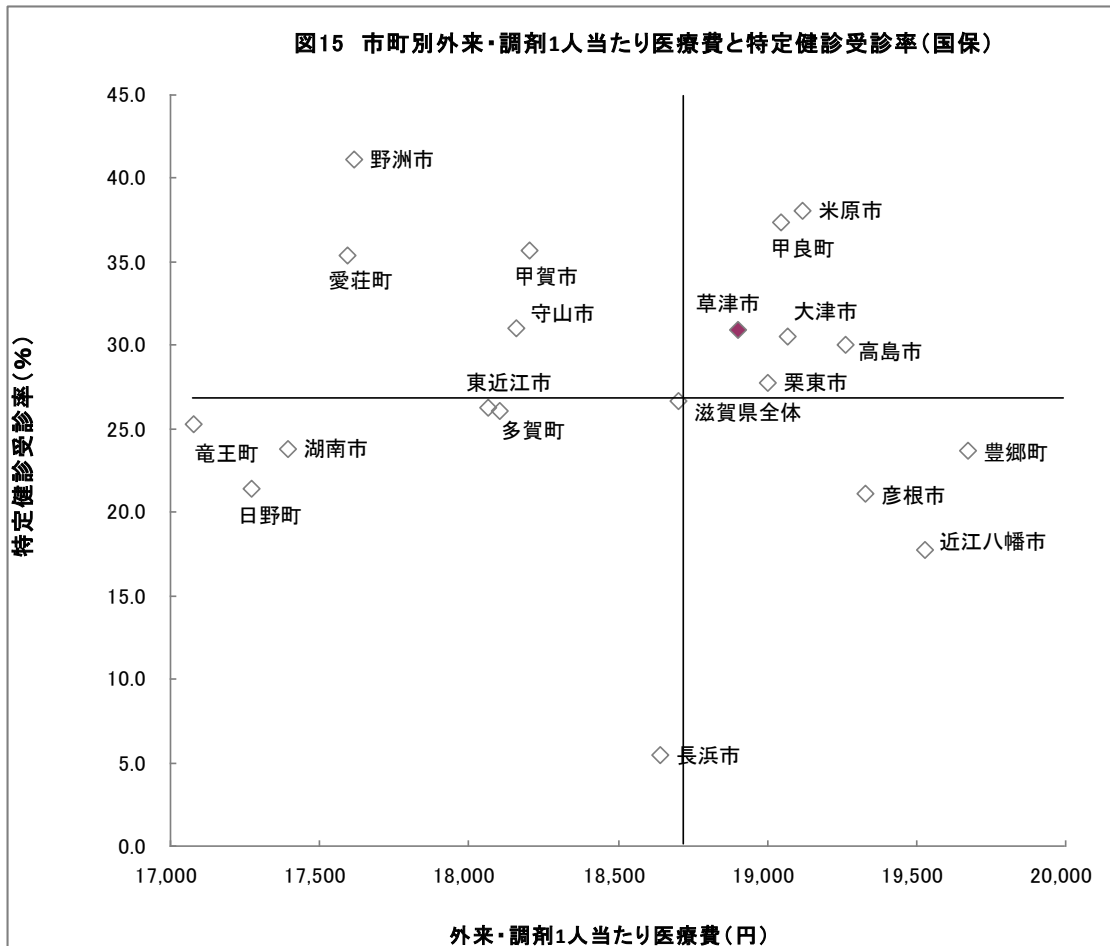
市町	外来・調剤						入院					
	特定健診受診			未受診			特定健診受診			未受診		
	人数	1人当たり医療費	順位	人数	1人当たり医療費	順位	人数	1人当たり医療費	順位	人数	1人当たり医療費	順位
大津市	15,552	16,404	6	28,287	20,533	6	1,335	66,239	10	3,711	125,457	5
彦根市	3,289	13,115	19	11,026	21,182	4	176	63,412	14	1,203	116,398	14
長浜市	1,076	14,980	13	16,671	18,875	14	76	58,596	18	1,777	112,761	18
近江八幡市	2,300	18,003	2	8,963	19,921	9	149	62,494	15	1,033	119,978	10
東近江市	4,527	14,198	15	10,661	19,710	11	333	69,695	8	1,310	117,791	13
草津市	5,164	16,595	4	9,139	20,208	7	489	71,397	5	1,133	124,318	7
守山市	3,219	18,038	1	5,751	18,223	19	282	71,161	6	685	108,654	19
野洲市	3,129	15,970	7	3,609	19,040	13	256	70,135	7	472	136,094	3
湖南市	1,868	14,130	16	4,899	18,638	16	139	66,002	11	599	115,965	15
甲賀市	4,948	15,818	8	7,300	19,825	10	402	67,313	9	990	123,621	9
高島市	2,867	15,190	10	5,794	21,273	3	241	60,586	16	783	119,783	11
米原市	2,453	15,093	11	3,528	21,919	1	171	71,589	4	454	137,375	2
栗東市	2,218	16,762	3	4,603	20,079	8	148	64,722	13	550	113,459	17
日野町	745	13,340	17	2,394	18,492	17	69	65,335	12	296	113,532	16
竜王町	415	13,329	18	1,128	18,454	18	25	131,683	1	148	137,766	1
愛荘町	973	15,730	9	1,541	18,775	15	73	60,160	17	182	118,728	12
豊郷町	290	14,981	12	805	21,362	2	25	41,736	19	91	130,552	4
甲良町	544	16,479	5	778	20,840	5	56	72,021	3	94	125,088	6
多賀町	352	14,814	14	861	19,448	12	21	107,393	2	120	124,219	8
計	55,929	15,832		127,738	19,956		4,466	67,550		15,631	120,804	

注；単位は円

4. 市町別外来・調剤1人当たり医療費と特定健診受診率（図15）

国保被保険者のうち外来・調剤医療を受けた者を対象として市町別に外来・調剤1人当たり医療費と特定健診受診率の散布図を検討した。

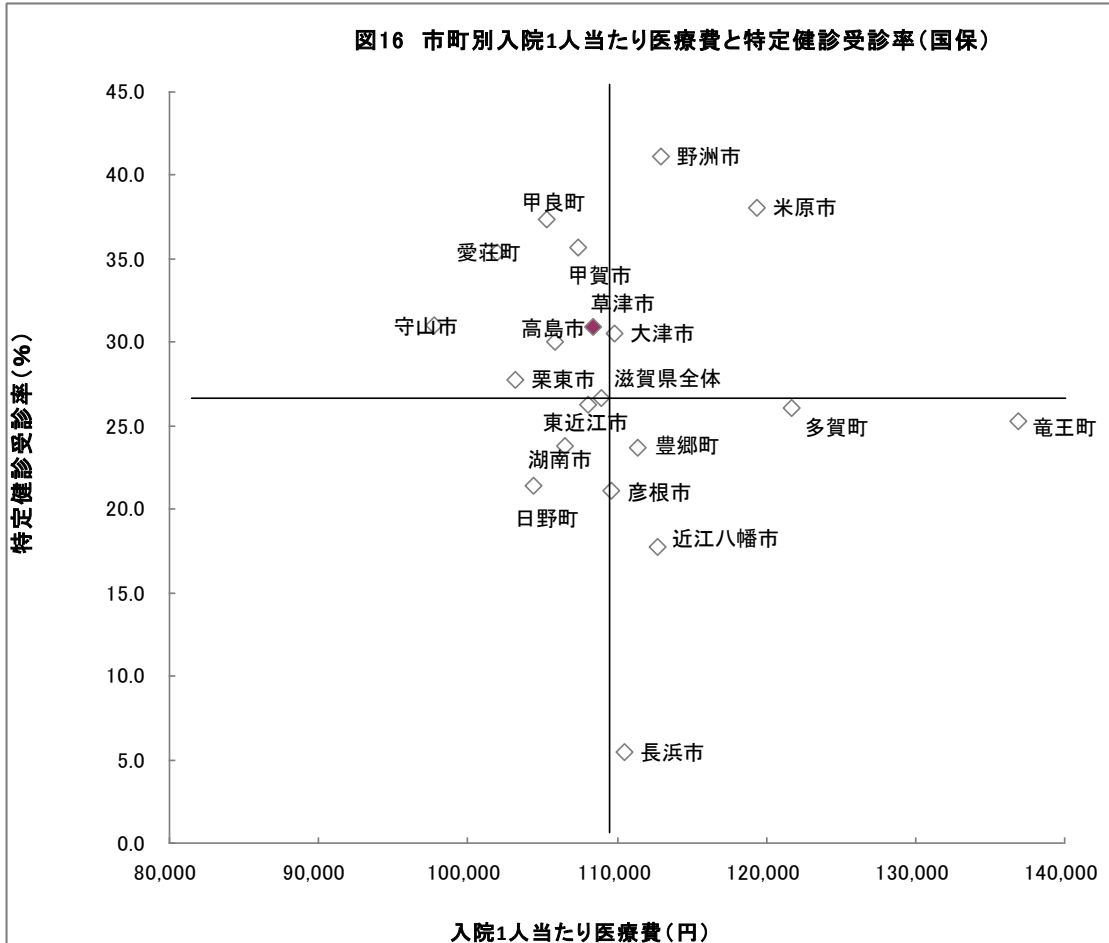
草津市の1人当たり医療費は、滋賀県平均よりも高く、特定健診受診率も滋賀県平均より高いことがわかった。



5. 市町別入院1人当たり医療費と特定健診受診率 (図 16)

国保被保険者のうち入院医療を受けた者 20,097 人を対象として市町別に入院1人当たり医療費と特定健診受診率の散布図を検討した。

草津市の1人当たり医療費は、滋賀県平均よりも若干低かったが、特定健診受診率は滋賀県平均より高いことがわかった。



6. 市町別健診受診者に対する受診勧奨以後の生活習慣病レセプトの有無

国保一般の特定健診受診者のうち、1項目でも受診勧奨値があつて、服薬（血圧、血糖、脂質）がない者 29,421 人について、健診受診月以降のレセプト（生活習慣病のある）の有無について分析を行った。

1) 外来レセプト（表 15）

滋賀県全体で健診受診後に外来レセプトのある者は 11,286 人（38.4%）で、レセプトのない者は 18,135 人（61.6%）であつた。すなわち、6割以上の者が調査時点でまだ外来医療を受けていないことがわかつた。

一方、草津市で健診受診後に外来レセプトのある者は 901 人（37.6%）で、レセプトのない者は 1,494 人（62.4%）であつた。すなわち、県と同様に 6割以上の者が調査時点でまだ外来医療を受けていないことがわかつた。

表 15 市町別健診受診者に対する受診勧奨以後の生活習慣病レセプトの有無(国保)

外来レセプト

市町	あり			なし			計	
	人数	%	順位	人数	%	順位	人数	%
大津市	3,255	41.7	4	4,545	58.3	16	7,800	100.0
彦根市	667	34.6	12	1,259	65.4	8	1,926	100.0
長浜市	378	37.6	7	627	62.4	12	1,005	100.0
近江八幡市	474	39.5	5	726	60.5	15	1,200	100.0
東近江市	1,029	41.8	3	1,432	58.2	17	2,461	100.0
草津市	901	37.6	7	1,494	62.4	12	2,395	100.0
守山市	694	42.5	2	938	57.5	18	1,632	100.0
野洲市	578	37.0	10	986	63.0	10	1,564	100.0
湖南市	264	28.0	17	679	72.0	3	943	100.0
甲賀市	1,035	38.2	6	1,674	61.8	14	2,709	100.0
高島市	466	32.5	13	969	67.5	7	1,435	100.0
米原市	479	34.9	11	893	65.1	9	1,372	100.0
栗東市	468	44.4	1	585	55.6	19	1,053	100.0
日野町	180	37.2	9	304	62.8	11	484	100.0
竜王町	66	25.6	18	192	74.4	2	258	100.0
愛荘町	164	30.3	16	378	69.7	4	542	100.0
豊郷町	46	32.4	14	96	67.6	6	142	100.0
甲良町	70	25.4	19	206	74.6	1	276	100.0
多賀町	72	32.1	15	152	67.9	5	224	100.0
計	11,286	38.4		18,135	61.6		29,421	100.0

2) 入院レセプト (表 16)

滋賀県全体で健診受診後に入院レセプトのある者は 496 人 (1.7%) で、レセプトのない者は 28,925 人 (98.3%) であった。すなわち、2%弱の者が調査時点で入院医療を受けていることがわかった。

一方、草津市で健診受診後に入院レセプトのある者は 41 人 (1.7%) で、レセプトのない者は 2,354 人 (98.3%) であった。すなわち、県と同様に 2%弱の者が調査時点で入院医療を受けていることがわかった。

表 16 市町別健診受診者に対する受診勧奨以後の生活習慣病レセプトの有無(国保)

入院レセプト

市町	あり			なし			計	
	人数	%	順位	人数	%	順位	人数	%
大津市	121	1.6	13	7,679	98.4	6	7,800	100.0
彦根市	22	1.1	16	1,904	98.9	2	1,926	100.0
長浜市	11	1.1	16	994	98.9	2	1,005	100.0
近江八幡市	23	1.9	6	1,177	98.1	11	1,200	100.0
東近江市	51	2.1	4	2,410	97.9	15	2,461	100.0
草津市	41	1.7	12	2,354	98.3	8	2,395	100.0
守山市	38	2.3	3	1,594	97.7	17	1,632	100.0
野洲市	29	1.9	6	1,535	98.1	11	1,564	100.0
湖南市	10	1.1	16	933	98.9	2	943	100.0
甲賀市	44	1.6	13	2,665	98.4	6	2,709	100.0
高島市	26	1.8	10	1,409	98.2	9	1,435	100.0
米原市	18	1.3	15	1,354	98.7	5	1,372	100.0
栗東市	20	1.9	6	1,033	98.1	11	1,053	100.0
日野町	14	2.9	1	470	97.1	19	484	100.0
竜王町	5	1.9	6	253	98.1	11	258	100.0
愛荘町	14	2.6	2	528	97.4	18	542	100.0
豊郷町	3	2.1	4	139	97.9	15	142	100.0
甲良町	2	0.7	19	274	99.3	1	276	100.0
多賀町	4	1.8	10	220	98.2	9	224	100.0
計	496	1.7		28,925	98.3		29,421	100.0

7. 外来の健診未受診者に対する医療受療状況

国保一般の特定健診未受診者 164,895 人のうち、生活習慣病関連で外来医療を受けた者を分析した。

1) 市町別 (表 17)

滋賀県全体の健診未受診者の生活習慣病関連の疾病をみると、生活習慣病が 48.7%、高血圧症 32.5%、糖尿病 25.8%、高脂血症 24.9%の順に多かった。

一方、草津市では生活習慣病が 45.0% (上位 15 位)、高血圧症 29.4% (上位 15 位)、糖尿病 26.3% (上位 10 位)、高脂血症 24.7% (上位 9 位) の順に多かった。すなわち、県全体、草津市ともに同様の疾患が多い傾向にあったが、草津市の高脂血症が県下で比較的上位にあることがわかった。

表 17 外来の特定健診未受診者に対する受療状況(市町別)(国保)

市町別

市町	生活習慣病			糖尿病			高血圧症			高脂血症			計	
	人数	%	順位	人数	%	順位	人数	%	順位	人数	%	順位	人数	%
大津市	16,664	44.7	18	8,498	22.8	18	10,689	28.7	18	8,698	23.3	11	37,273	100.0
彦根市	7,494	54.3	2	4,203	30.4	2	5,013	36.3	3	4,128	29.9	1	13,807	100.0
長浜市	11,117	54.4	1	5,517	27.0	7	7,551	36.9	1	5,560	27.2	5	20,445	100.0
近江八幡市	5,868	51.8	6	2,807	24.8	15	4,096	36.1	4	3,006	26.5	6	11,336	100.0
東近江市	6,883	49.7	9	3,777	27.3	6	4,648	33.6	11	3,527	25.5	8	13,846	100.0
草津市	5,480	45.0	15	3,204	26.3	10	3,576	29.4	15	3,003	24.7	9	12,169	100.0
守山市	3,402	45.3	14	1,771	23.6	17	2,247	29.9	14	1,726	23.0	14	7,508	100.0
野洲市	2,055	43.4	19	1,052	22.2	19	1,350	28.5	19	954	20.2	19	4,731	100.0
湖南市	2,881	44.8	17	1,611	25.0	14	1,882	29.3	16	1,358	21.1	17	6,434	100.0
甲賀市	4,708	48.2	12	2,582	26.4	8	3,299	33.8	9	2,202	22.5	15	9,772	100.0
高島市	3,854	51.0	7	2,070	27.4	5	2,626	34.7	8	2,105	27.8	3	7,562	100.0
米原市	2,382	53.5	3	1,243	27.9	4	1,597	35.9	5	1,228	27.6	4	4,449	100.0
栗東市	2,706	44.9	16	1,584	26.3	10	1,733	28.8	17	1,394	23.1	13	6,023	100.0
日野町	1,577	51.9	5	942	31.0	1	1,086	35.7	6	725	23.9	10	3,038	100.0
竜王町	714	50.5	8	368	26.0	12	476	33.7	10	296	20.9	18	1,413	100.0
愛荘町	950	48.1	13	481	24.4	16	644	32.6	13	428	21.7	16	1,975	100.0
豊郷町	500	48.6	10	272	26.4	8	366	35.6	7	289	28.1	2	1,029	100.0
甲良町	484	48.5	11	257	25.8	13	326	32.7	12	233	23.3	11	998	100.0
多賀町	575	52.9	4	310	28.5	3	400	36.8	2	279	25.7	7	1,087	100.0
計	80,294	48.7		42,549	25.8		53,605	32.5		41,139	24.9		164,895	100.0

2) 性別 (表 18)

滋賀県全体の健診未受診者の生活習慣病関連の疾病を性別にみると、生活習慣病は若干女が多く、糖尿病は男が多く、高血圧症は若干男が多く、高脂血症は女が多い傾向にあった。一方、草津市では生活習慣病は若干女が多く、糖尿病は男が多く、高血圧症は若干男が多く、高脂血症は女が多い傾向にあった。すなわち、県全体、草津市ともに同様の傾向にあった。

表18 外来の特定健診未受診者に対する医療受療状況(性別)(国保)

県市・性	生活習慣病		男女比%	糖尿病		男女比%	高血圧症		男女比%	高脂血症		男女比%	計		男女比%
	人数	%		人数	%		人数	%		人数	%		人数	%	
【県全体】															
男	39,807	48.2	49.6	23,164	28.1	54.4	27,189	32.9	50.7	17,384	21.1	42.3	82,528	100.0	50.0
女	40,487	49.2	50.4	19,385	23.5	45.6	26,416	32.1	49.3	23,755	28.8	57.7	82,367	100.0	50.0
計	80,294	48.7	100.0	42,549	25.8	100.0	53,605	32.5	100.0	41,139	24.9	100.0	164,895	100.0	100.0
【草津市】															
男	2,713	45.0	49.5	1,722	28.6	53.7	1,820	30.2	50.9	1,321	21.9	44.0	6,028	100.0	49.5
女	2,767	45.1	50.5	1,482	24.1	46.3	1,756	28.6	49.1	1,682	27.4	56.0	6,141	100.0	50.5
計	5,480	45.0	100.0	3,204	26.3	100.0	3,576	29.4	100.0	3,003	24.7	100.0	12,169	100.0	100.0

3) 年齢階級別 (表 19)

滋賀県全体の健診未受診者の生活習慣病関連の疾病を年齢階級別にみると、生活習慣病、糖尿病、高血圧症、高脂血症ともに65-74歳が多い傾向にあった。

一方、草津市でも生活習慣病、糖尿病、高血圧症、高脂血症ともに65-74歳が多い傾向にあった。

すなわち、県、草津市ともにどの疾患も65歳以上に多い傾向があることがわかった。

表19 外来の特定健診未受診者に対する受療状況(年齢階級別)(国保)

県市・年齢階級	生活習慣病		糖尿病		高血圧症		高脂血症		計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
【県全体】										
40-64歳	33,008	35.6	16,881	18.2	19,843	21.4	16,499	17.8	92,757	100.0
65-74歳	47,231	65.5	25,647	35.6	33,721	46.8	24,614	34.2	72,067	100.0
75歳以上	55	77.5	21	29.6	41	57.7	26	36.6	71	100.0
計	80,294	48.7	42,549	25.8	53,605	32.5	41,139	24.9	164,895	100.0
【草津市】										
40-64歳	2,369	33.1	1,328	18.5	1,400	19.5	1,285	17.9	7,162	100.0
65-74歳	3,109	62.1	1,875	37.5	2,174	43.5	1,717	34.3	5,003	100.0
75歳以上	2	50.0	1	25.0	2	50.0	1	25.0	4	100.0
計	5,480	45.0	3,204	26.3	3,576	29.4	3,003	24.7	12,169	100.0

注)年齢計算基準日が年度末日であるため、国保加入者に75歳が含まれる。

8. 入院の健診未受診者に対する医療受療状況

国保一般の特定健診未受診者 164,895 人のうち、生活習慣病関連で入院医療を受けた者を分析した。

1) 市町別 (表 20)

滋賀県全体の健診未受診者の生活習慣病関連の疾病をみると、生活習慣病が 5.0%、高血圧症 2.8%、糖尿病 2.7%、高脂血症 1.5%の順に多かった。

一方、草津市では生活習慣病が 5.0% (上位 12 位)、高血圧症 2.9% (上位 12 位)、糖尿病 2.8% (上位 10 位)、高脂血症 1.7% (上位 5 位) の順に多かった。すなわち、県全体、草津市ともに同様の疾患が多い傾向にあったが、草津市の高脂血症が県下で比較的上位にあることがわかった。

表20 入院の特定健診未受診者に対する受療状況(市町別)(国保)

市町別

市町	生活習慣病			糖尿病			高血圧症			高脂血症			計	
	人数	%	順位	人数	%	順位	人数	%	順位	人数	%	順位	人数	%
大津市	1,818	4.9	15	894	2.4	17	995	2.7	17	593	1.6	7	37,273	100.0
彦根市	579	4.2	19	282	2.0	19	300	2.2	19	132	1.0	17	13,807	100.0
長浜市	942	4.6	17	456	2.2	18	571	2.8	14	205	1.0	17	20,445	100.0
近江八幡市	571	5.0	12	314	2.8	10	326	2.9	12	164	1.4	14	11,336	100.0
東近江市	769	5.6	5	442	3.2	4	429	3.1	8	227	1.6	7	13,846	100.0
草津市	610	5.0	12	340	2.8	10	354	2.9	12	204	1.7	5	12,169	100.0
守山市	341	4.5	18	186	2.5	15	202	2.7	17	108	1.4	14	7,508	100.0
野洲市	265	5.6	5	147	3.1	6	150	3.2	5	81	1.7	5	4,731	100.0
湖南市	325	5.1	9	195	3.0	7	182	2.8	14	98	1.5	12	6,434	100.0
甲賀市	520	5.3	7	296	3.0	7	296	3.0	9	160	1.6	7	9,772	100.0
高島市	443	5.9	4	247	3.3	3	251	3.3	4	151	2.0	2	7,562	100.0
米原市	222	5.0	12	110	2.5	15	143	3.2	5	39	0.9	19	4,449	100.0
栗東市	306	5.1	9	193	3.2	4	167	2.8	14	97	1.6	7	6,023	100.0
日野町	184	6.1	2	113	3.7	2	109	3.6	2	54	1.8	4	3,038	100.0
竜王町	86	6.1	2	55	3.9	1	45	3.2	5	29	2.1	1	1,413	100.0
愛荘町	103	5.2	8	57	2.9	9	59	3.0	9	27	1.4	14	1,975	100.0
豊郷町	49	4.8	16	28	2.7	12	31	3.0	9	15	1.5	12	1,029	100.0
甲良町	51	5.1	9	27	2.7	12	35	3.5	3	16	1.6	7	998	100.0
多賀町	67	6.2	1	28	2.6	14	41	3.8	1	22	2.0	2	1,087	100.0
計	8,251	5.0		4,410	2.7		4,686	2.8		2,422	1.5		164,895	100.0

2) 性別 (表 21)

滋賀県全体の健診未受診者の生活習慣病関連の疾病を性別にみると、生活習慣病、糖尿病、高血圧症、高脂血症ともに男が多い傾向にあった。一方、草津市でも生活習慣病、糖尿病、高血圧症、高脂血症ともに男が多い傾向にあった。

すなわち、県全体、草津市ともにどの疾患も男が多い傾向にあった。(男の重症化傾向を示した)

表21 入院の特定健診未受診者に対する受療状況(性別)(国保)

性別

県市・性	生活習慣病		糖尿病		高血圧症		高脂血症		計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
【県全体】										
男	5,095	6.2	2,801	3.4	2,883	3.5	1,363	1.7	82,528	100.0
女	3,156	3.8	1,609	2.0	1,803	2.2	1,059	1.3	82,367	100.0
計	8,251	5.0	4,410	2.7	4,686	2.8	2,422	1.5	164,895	100.0
【草津市】										
男	387	6.4	220	3.6	218	3.6	113	1.9	6,028	100.0
女	223	3.6	120	2.0	136	2.2	91	1.5	6,141	100.0
計	610	5.0	340	2.8	354	2.9	204	1.7	12,169	100.0

3) 年齢階級別 (表 22)

滋賀県全体の健診未受診者の生活習慣病関連の疾病を年齢階級別にみると、生活習慣病、糖尿病、高血圧症、高脂血症ともに65-74歳が多い傾向にあった。一方、草津市では生活習慣病、糖尿病、高血圧症、高脂血症ともに65-74歳が多い傾向にあった。すなわち、県、草津市ともにどの疾患も65-74歳に多い傾向があることがわかった。これは40歳以上の疾病の早期発見、重症化予防の必要性を示唆していた。

表22 入院の特定健診未受診者に対する受療状況(年齢階級別)(国保)

年齢階級別

県市・年齢階級	生活習慣病		糖尿病		高血圧症		高脂血症		計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
【県全体】										
40-64歳	3,098	3.3	1,736	1.9	1,624	1.8	924	1.0	92,757	100.0
65-74歳	5,146	7.1	2,670	3.7	3,059	4.2	1,498	2.1	72,067	100.0
75歳以上	7	9.9	4	5.6	3	4.2	0	0.0	71	100.0
計	8,251	5.0	4,410	2.7	4,686	2.8	2,422	1.5	164,895	100.0
【草津市】										
40-64歳	236	3.3	140	2.0	130	1.8	86	1.2	7,162	100.0
65-74歳	374	7.5	200	4.0	224	4.5	118	2.4	5,003	100.0
75歳以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	100.0
計	610	5.0	340	2.8	354	2.9	204	1.7	12,169	100.0

注)年齢計算基準日が年度末日であるため、国保加入者に75歳が含まれる。

D. 自立支援分析

(省略)

IV. 考察・提言

本研究事業は、草津市、甲賀市、東近江市、日野町の国保保険者の財政健全化・健康づくり推進等の政策立案に関する支援を行うことを目的として、医療費状況、介護状況、特定健診受診状況、自立支援状況などの課題・問題点を明らかにして、その対応策について提言するものである。なお、本報告書は、その中の草津市版である。

A. 一般医療費分析

1. 草津市の被保険者の受療割合は、一般・退職 78.2%、後期高齢者 95.5%で県平均より若干低く、受診率（レセプト件数／被保険者数×100）も、一般・退職 89.3%、後期高齢者 196.2%で県平均より低かった。すなわち、草津市は県平均と比べて元気高齢者が若干多いことがわかった。

2. 草津市の外来・調剤1人当たり医療費は20,562円で滋賀県下11位、入院1人当たり医療費は117,802円で滋賀県下5位であった。したがって、特に入院の医療費適正化対策の必要性が示唆された。

更に、入院1人当たり医療費が高い理由として、1件当たり医療費よりも受診率が高いためであることがわかった。

したがって、疾病の重症化あるいは入院・退院の繰り返しなどが予想されるため、確認を含めた医療費適正化対策として、保健師の「重症化予防訪問」が必要であろう。

3. 草津市の外来・調剤受診率は79.9%で県平均81.9%より低く、1件当たり医療費も17,988円で県平均18,676円より低い値であった。更に草津市の外来・調剤1件当たり医療費の構成要素をみたところ、1日当たり医療費、1件当たり日数ともに県平均より低いことがわかった。

ただし、参考として草津市のレセプト記載の通院日数の分布を検討した結果、1か月に最大30日も頻回に通院している者がいることがわかった。このレセプトを連合会で確認した結果、1,587,310円の請求金額であり、C型肝炎で毎日インターフェロンを投与したためであることがわかった。また、県全体でも31日通院のレセプトが21件もあったことから、疾病を確認したところ多くが肝炎であったことから、今後、「肝炎予防検診」の強化の必要性が示唆された。

また、草津市、滋賀県全体ともに、これら頻回受診者の多くは、前記の例外を除くと社会的な理由から医療機関を受診している「社会的通院患者」であることが予想される。現在のところ、1人当たり医療費への影響は少ないが、社会的通院の解消のために、月25日以上通院している79件のその実態を把握・改善するための保健師等の訪問などによる「頻回受診対策」が必要であろう。

4. 草津市の疾病（特に、生活習慣病）別外来・調剤1人当たり医療費をみると、動脈閉塞87,977円が最も高く、つづいて糖尿病性神経障害、糖尿病性網膜症、高尿酸血症、糖尿病性腎症などの順に高いことがわかった。これは、殆どが糖尿病の重症合併症と言えることから草津市の医療費適正化対策として特に糖尿病とその合併症対策が最重要課題であり、糖尿病重症化予防対策を重点的に取り組む必要が示唆された。糖尿病は滋賀県全体でも最重点疾患であることを示していたことから、市町、医師会、学識経験者、住民代表等を構成員とする『糖尿病対策推進会議』の開催をするなどの対策が必要であろう。

5. 草津市の疾病（特に、生活習慣病）別入院1人当たり医療費をみると、脳出血 164,757 円が最も高く、つづいて糖尿病性神経障害、脳梗塞などの順に高いことがわかった。特に脳出血、脳梗塞が目立っていたことに注目したい。すなわち、草津市の入院医療費適正化対策として特に『脳卒中予防』が最重要課題であることを示唆していた。なお、草津市は外来でも「糖尿病性神経障害」は際立って高く、糖尿病の重症化予防対策が重要であろう。

さらに、糖尿病、高血圧症の重症化あるいは入院・退院の繰り返しなどが予想されることから、患者のQOLの確保のためにも、若年層での糖尿病、高血圧性疾患での入院患者の退院後の保健指導にスムーズに入れるよう、病院の地域連携室等との連携による退院連絡票等病院との連携システムの構築が必要と思われる。

6. 糖尿病との組み合わせ別外来・調剤1人当たり医療費をみたところ、草津市では「糖尿病」との組み合わせは、動脈閉塞 87,977 円、糖尿病性神経障害 62,631 円、高尿酸血症 51,727 円、糖尿病性網膜症 51,439 円などの順に高かった。すなわち、県と比べて草津市では糖尿病と高尿酸血症害の組み合わせが目立っていたことから、今後、高尿酸血症の予防のためにも特定健診項目の見直しも一考であろう。

また、「糖尿病」との組み合わせ別入院1人当たり医療費は、脳出血 161,624 円、糖尿病性神経障害 154,124 円、脳梗塞 152,354 円などの順に高かった。すなわち、県と比べて草津市では糖尿病と脳血管疾患との組み合わせが目立っていた。すなわち、糖尿病と脳血管疾患との組み合わせは入院医療が必要になるほど重症化することが予想され、合併症対策が重要課題である。

B. 介護分析

(省略)

C. 特定健診分析

1. 草津市では、40歳以上74歳の国保被保険者17,602人で、このうち健診受診者は5,433人(30.9%)、また、医療を受けた被保険者14,373人(81.7%)のうち健診受診者は5,166人(35.9%)であった。すなわち、草津市は県平均より医療受療率は低く、医療を受けた被保険者のうち特定健診受診率は、県平均26.7%よりも高かった。今後、目標値達成に向け一層の受診率向上を目指してほしい。

2. 草津市の外来・調剤における特定健診受診者5,164人の1人当たり医療費は16,595円、未受診者9,139人の外来・調剤1人当たり医療費は20,208円で、健診受診者の方が低かった。一方、草津市の入院における特定健診受診者489人の1人当たり医療費は71,397円、未受診者1,133人の入院1人当たり医療費は124,318円で、健診受診者の方がかなり低かった。

すなわち、県全体、草津市ともに特定健診受診者の外来・調剤、入院1人当たり医療費が低いことから、特定健診が疾病の早期発見・早期治療（二次予防）に機能していることがうかがえた。医療費適正化の観点からも未受診者対策が必要であろう。なお、草津市の健診受診者の外来・調剤1人当たり医療費は県全体で上位4位、入院1人当たり医療費は県全体で上位5位であり、県下でも上位であることから、草津市では二次予防はもちろんのこと一次予防の一層の強化が必要であろう。

3. 国保一般の特定健診受診者のうち、1項目でも受診勧奨値があつて、服薬（血圧、血糖、脂質）がない者 29,421 人について、健診受診月以降のレセプト（生活習慣病のある）の有無について分析を行った。その結果、草津市で健診受診後に外来レセプトのある者は901人（37.6%）で、レセプトのない者は1,494人（62.4%）であった。すなわち、県と同様に6割以上の者が調査時点でまだ外来医療を受けていないことから、受診勧奨値者の経過を把握し、未受診者へのより一層の受療勧奨の必要性が示唆された。また、外来（医療）受診状況の確認が必要であろう。

一方、草津市で健診受診後に入院レセプトのある者は41人（1.7%）で、レセプトのない者は2,354人（98.3%）であった。すなわち、県と同様に2%弱の者が調査時点で入院医療を受けていることがわかったが、これは重症化してからの健診受診であったのか健診受診による早期の受療勧奨が疾病の重症化予防に影響した成果であったのかの検証が必要である。

4. 国保一般の特定健診未受診者 164,895 人のうち、生活習慣病関連で外来医療を受けた者を分析した。その結果、草津市では生活習慣病が 45.0%（上位 15 位）、高血圧症 29.4%（上位 15 位）、糖尿病 26.3%（上位 10 位）、高脂血症 24.7%（上位 9 位）の順に多かった。すなわち、県全体、草津市ともに同様の疾患が多い傾向にあったが、草津市の高脂血症が県下で比較的上位にあることから、高脂血症予防が生活習慣病予備群に対して必要であることがうかがえた。

5. 国保一般の特定健診未受診者 164,895 人のうち、生活習慣病関連で入院医療を受けた者を分析した。その結果、草津市では生活習慣病が 5.0%（上位 12 位）、高血圧症 2.9%（上位 12 位）、糖尿病 2.8%（上位 10 位）、高脂血症 1.7%（上位 5 位）の順に多かった。すなわち、県全体、草津市ともに同様の疾患が多い傾向にあったが、草津市の高脂血症が県下で比較的上位にあることから、高脂血症の重症化予防の必要性がうかがえた。なお、県全体、草津市ともに、糖尿病と高血圧症については、男の重症化傾向がみられたことに注意したい。すなわち、男に注目した未受診者対策の強化が必要であろう。

また、健診受診者の生活習慣病関連疾患は、生活習慣病、糖尿病、高血圧、高脂血症とも 65 歳～74 歳に多い傾向が見られたことから、40 歳～64 歳までの間での健診受診勧奨と重症化予防対策（治療中の対象者の保健指導）を講じる必要がある。

D. 自立支援分析

（省略）

以上の結果をまとめると以下の通りである。

A. 一般医療費分析では、草津市は県平均と比べて医療を受けていない元気高齢者が若干多いことがわかった。今後、元気高齢者の一次予防の一層の強化が期待される。

しかしながら、草津市の外来・調剤1人当たり医療費は滋賀県下 11 位、入院1人当たり医療費は滋賀県下 5 位であったことから、特に入院の医療費適正化対策、なかでも入院受診率低減対策の必要性が示唆された。すなわち、疾病の重症化あるいは入院・退院の繰り返しなどから受診率が高いことが予想されることから、その実態を把握・改善するために保健師等の訪問などによる個別調

査が必要であろう。

また、草津市の医療費適正化対策として特に「糖尿病とその合併症対策」、「脳卒中予防」が最重要課題であることを示唆していた。特に、『糖尿病対策推進会議（仮称）』等を設置し、草津市における医療給付の実態について、市民向けに解りやすく解説する機会を多く持つことや糖尿病予防対策に特化した啓発活動を重点的に実施すること。

また、一次予防から三次予防までの段階的な予防対策について具体的な検討を実施するとともに年次計画化を行い、それらの評価を加えながら、各事業や計画の追加や修正を検討していくなどの対策が必要であろう。また、草津市では肝炎についても医療費の高額化がうかがえたことから、今後、肝炎の早期発見・治療につながる『肝炎予防検診』の強化を図ることを提言したい。

なお、草津市では糖尿病と高尿酸血症の組み合わせが目立っていたことから、今後、特定健診項目の見直しも一考であろう。

B. 介護分析

（省略）

C. 特定健診分析では、草津市は県平均より医療受療率は低く、特定健診受診率は、県平均 26.7% よりも高かったことは好ましい傾向であった。

また、県全体、草津市ともに特定健診受診者の外来・調剤、入院ともに1人当たり医療費が低いことから、疾病の早期発見・早期治療が医療費適正化につながっていることがうかがえた。したがって、医療費適正化の観点からも特に、40歳～64歳の男性への重点的未受診者対策が必要であろう。なお、草津市の特定健診受診者の外来・調剤1人当たり医療費は県全体で上位4位、入院1人当たり医療費は県全体で上位5位であり、県下でも上位であることから、草津市では特定健診が二次予防の機能を果たしているのか、重症化してからの健診受診者が多いのかの検証が必要であることは、もちろんのこと受診率向上に向けた啓発活動（健康推進員活動との協働等、住民を巻き込んだ活動）、一次予防の一層の強化が必要であろう。また、特定健診後の特定保健指導の一層の充実を図ってもらいたい。

なお、国保一般の特定健診受診者のうち、1項目でも受診勧奨値があって、服薬（血圧、血糖、脂質）がない者について、特定健診受診月以降のレセプト（生活習慣病のある）の有無について分析を行った結果、県と同様に6割以上の者が調査時点でまだ外来医療を受けていないことから、対象者を抽出し、若年層から実態把握のための訪問調査を実施し、早期受診勧奨と疾病管理に関する知識や技術に関する啓発活動等より一層の受療勧奨の必要性が示唆された。

なお、国保一般の特定健診未受診者のうち、生活習慣病関連で外来医療を受けた者を分析した結果、草津市の高脂血症の1人当たり医療費が県下で比較的上位にあることから、未受診者に対して、広報や訪問によって生活習慣病のなかでも特に高脂血症は糖尿病、高血圧症、心臓血管系疾患、脳血管系疾患の予備軍とも言える疾患でもあることについての住民への啓発と高脂血症重症化予防の重要性を周知する方策の必要性がうかがえた。

D. 自立支援分析

（省略）

以上